

会長のページ マッチングについて	河野 雅行	3
日州医談 移行期医療の必要性について	高木 純一	4
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	山下 篤	6
宮崎大学医学部教授就任挨拶	高橋 邦行	7
随 筆 たそがれワルツ <i>Carpe diem</i>	北村 和生	9
エコー・リレー (568)	黒川 基樹, 上園 繁弘	14
メディアの目 医学の出番	加藤 学	15
身近なお困りごと相談室	高山 桂	16
宮崎大学医学部だより (社会医学講座-生命・医療倫理学分野-)	板井孝彦郎	28
専門分科医会だより (精神科医会)	吉田 建世	29
300回を迎えた日南在宅ケア研究会	木佐貫 篤	42
ニューメンバー	小岩屋 宏, 坂田 鋼治	50
診療メモ コロナ罹患後症状に対する治療 (私案)	川越 宏文	74
宮大医学部学生のページ		
研究室配属について ~感覚運動医学講座眼科学分野~	片岡 凜	76

あなたできますか? (令和3年度医師国家試験問題より)	8
叙 勲・祝 賀	18
褒 章・祝 賀	18
表 彰・祝 賀	19
宮崎県感染症発生動向	22
各郡市医師会だより (西臼杵郡医師会, 宮崎大学医学部医師会)	24
県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	30
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会	
宮崎県医師会医療事故調査支援委員会合同会議	32
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	34
九州医師会連合会第403回常任委員会	36
九州各県医師会学校保健担当理事者会	38
全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会【Web会議】	
第72回定例総会・令和4年度第1回運営委員会	40
日医インターネットニュースから	46
医師国保組合だより	48
会員の異動・変更報告	52
理 事 会 日 誌	54
ベストセラー	57
県 医 の 動 き	58
ドクターバンク情報	59
行 事 予 定	65
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	67
令和4年総目次	78
あ と が き	96

お知らせ		
カット・イラストの募集		13
医療勤務環境改善支援センター		17
年末・年始の休館について		37
県医師会館大規模修繕工事について		39
医師年金ご加入のおすすめ		51
宮崎県医師会メーリングリストのご案内		53
日州医事へのご意見・ご感想		63
女性医師の皆様へ (マタニティ白衣無料貸出)		91
郡市医師会への送付文書		92

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

芝刈り

大淀川の橋のたもとを歩いていると、芝刈りをしていました。夕陽がちょうど山影から姿を消す寸前で、芝刈り機がその影を追って進みます。ほんの数秒で陽が落ちました。芝刈り機と夕陽の追いかけて終わりました。きっと明日も良い天気です、朝早くから芝刈りをするでしょう。芝刈りが終わるといよいよ冬を迎えます。

宮崎市 谷口二郎

会長のページ

マッチングについて

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

本年度の臨床研修医のマッチングが発表されました。56名です。もっとも、今後この数字に追加や国家試験の合格いかんによっては多少の増減はあり得ます。

宮崎県の定員は102名あっても定員いっぱいの確保はとても無理です。暫定的に本県の当座目標は80名としてありますが、それでも目標の70%にとどまっています。過去には30名にまで落ち込んだ年もありました。関係者のたゆまぬ努力により最近では60名前後を確保しています。

全国の医師少数県ではさまざまな取組みを行っており、宮崎県では、他県の方策をも参考にして医師確保のために工夫・努力を重ねてきました。県を中心に、宮崎大学、県医師会、研修病院等が一体となり、全県を挙げて取り組んだ効果が徐々に表れてきているようです。

まずは宮崎大学卒の研修医を増やすために、地域枠の拡大、奨学金の貸与（これは卒後に一定の年数を指定医療機関で勤務すれば返還不要です）などを行っています。地域枠の拡大は卒後研修医を確保するにはよい手段ではあっても、無理に定数枠を確保すれば受験生のレベル低下が懸念されます。そこで、県・大学では県内の高等学校に出向き、優秀な生徒を受験させるように依頼しています。

次いで研修内容を充実させ、他大学卒者をも含めて受け入れることを目的として指導医の育成（毎年、県の補助で研修会を開催し、これまでに16回行い県内500名が研修を終えられている）を行い、全県下の研修医療機関を網羅したプログラムを作成して魅力のある選択可能コースを増やしました。

更に、半数を占める女性に対する支援も重要視しています。女性研修医は大学で6年間費やしているので、結婚や出産の時期と重なる人もいます。その際の研修や勤務の在り方についてさまざまな取組みがなされています。コースの変更や研修期間の見直し、出産育児などの相談窓口の設置、子育ての一助となるような保育サポーターの派遣などです。

上記のような努力の結果、何とか研修医を確保してもこれは医師確保の始まりであり、県内に居ついて活躍してもらうには、研修後の勤務先の確保と働きやすい環境づくりが必要です。一つの案として、大学病院や県立病院の医師定数を増やして医師をプールし、そこから教職員と同じように各地域へ出張勤務をお願いする。もちろん、定期的なローテーションで個人の負担が偏らないようにするのはいかがでしょうか。

しかし、先に述べたような関係者の努力のみでは限度があります。最も効果的なのは、研修医の誘致、並びに研修後の定着促進を全県民が取り組むことです。

(令和4年11月16日)

日州医談



移行期医療の必要性について

宮崎県医師会 常任理事 ^{たか}高 ^ぎ木 ^{じゅん}純 ^{いち}一

医療の進歩により小児期発症慢性疾患患者の多くが、思春期・成人期を迎えるようになった。平成29年10月に厚労省から「都道府県における小児慢性特定疾患の患者に対する移行期医療支援体制の構築に係るガイド」が出され、各都道府県に1つ移行期医療支援センターを確保することが求められている。また、令和元年12月に施行された成育基本法における「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」にも移行期医療がしっかりと明記されている。今回移行期医療とは何か、移行期医療支援センターの必要性などについて述べてみたい。

私の診療分野の一つである小児心臓病（特に先天性心臓病）に関しても移行期医療の問題に直面している。現在、国内の先天性心臓病患者の半分以上の50万人が成人を迎えていると言われている。更に今後も毎年1万人程度のペースで増加していくものと予測されている。一例を挙げれば、以前は救命し得なかった複雑心疾患に対するフォンタン型手術がある。この手術法は循環動態の条件が合えば、静脈血を直接肺動脈へ還流させ、動脈血は心臓から大動脈へ送血される手術法であり、心臓内奇形が関与しない機能的根治手術と言われるものである。現在外科手術の進歩によりこれらの恩恵を受けられた子どもたちが数多く成人期へ移行している。遠隔期合併症として肝硬変含めた肝疾患、糖脂質代謝異常などさまざまであり成人期に達した女性であれば妊娠出産の問題も出てくる。これら

の患者に対し、成人後も小児診療科だけで診続けることは、必ずしも最良の医療を提供できているとは言い切れない。“こども”から“大人”へと自立していく患者が、適切な医療を生涯に渡り受けられるように、小児診療科から成人診療科へとシームレスにつなげていくことが、医療者には求められている。

しかし2つの間には、医療分野の違いだけではなく、患者との関わり方や社会制度の違いなどさまざまな違いがある。

そこで必要となるのが、小児期医療と成人期医療をつなぐ架け橋となる新しい医療の形「移行期医療（トランジション）」である。単なる転科（トランスファー）とは異なり、移行期医療を成功させるためには、患者・養育者に対する移行支援が必要である。そこで移行期医療において必要となるのが患者教育である。

成人期医療への移行に向けた患者教育には3つのパターンがある。

1) 主として小児診療科の主治医が患者・養育者に疾患説明や成人診療科の説明を行うパターン

患者・養育者に転科準備ができており、スムーズな転科が可能な場合である。患者・養育者への疾患や服薬などの説明は必要であり、どの程度転科準備ができているか把握することが大切である。

2) 看護外来などで、小児診療科の主治医と看護師などが連携し自立支援を行うパターン

複数診療科が関わる患者や成人診療科への転科準備ができていない場合である。

看護師などが介入し、時間をかけて患者・養育者に寄り添いながら転科への理解を深めていくことが大切である。

3) 多職種が連携して、さまざまな方向からのアプローチを行い患者の自立支援を行うパターン

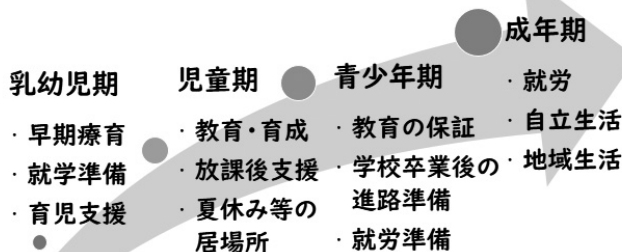
希少疾患や高度医療的ケアを要する転科困難例の場合である。確定診断がついた時から自立支援などの患者教育を開始し、主治医・看護師だけでなく多職種によるサポートを行い、転科に向けた準備を行うことが大切である。

しかし患者教育のみでは当然実現化は困難である。日本小児科学会の提言にもあるように医療体制上は、成人期医療への移行に向けた患者教育、受け手側の成人診療科医師の小児慢性疾患に対する知識・経験の蓄積、小児科医と成人診療科医との連携、妊娠・出産・遺伝カウンセリングを含む生殖医療の充実、

知的障害・発達障害を有する成人に対する対応の改善などが挙げられる。社会制度上は、20歳到達時点での小児慢性特定疾患治療研究事業の終了後の問題の解決、患者・家族を支えるための民間サポート活動の充実が挙げられる。今まで述べてきたように移行期医療を実現するためには多くのハードルをクリアしていかなければならない。本県でも移行期医療を必要とする患者は日々増えているのは事実であり避けて通れない課題である。

大都市圏においてはすでに移行期医療センター設立のもと、成人期に達した患者が安心して通院できる医療施設が大学病院・高度医療機関病院に設けられている。まずは本県においても、移行期医療支援センター設立に向けて行政を含めた多職種による委員会を立ち上げることが必要不可欠である。これらの患者が行き場がなくなることのないよう県医師会として行政側へ強く働きかけていきたい。

継続医療の必要な患者の移行支援 子どもの成長発達に応じた説明・支援(移行支援)により 患者・養育者が納得して次のライフステージへ進む



同胞(きょうだい)支援・ピアカウンセリング・医療・保健・福祉・教育・就労など関係機関のネットワーク確立

病院⇒

地域医療(小児科医療+成人科医療、訪問看護等)

医療の主役

養育者

→ 本人(代弁者:アドボケーター)

医療体制

小児期医療 ⇒ 移行期医療(トランジション) ⇒ 成人期医療

医療の担い手

小児診療科医⇒成人診療科医へ転科する

小児診療科医と成人診療科医の併診

小児診療科で継続診療を行う

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部病理学講座 構造機能病態学分野 教授 やま山 した下 あつし篤

先生方におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

2022年9月1日より前任の浅田祐士郎先生（現宮崎市郡医師会病院 病理診断科部長）を引き継ぎ、宮崎大学医学部 病理学講座 構造機能病態学分野（旧宮崎医科大学医学部 病理学第一講座）の教授を拝命いたしました山下篤です。1997年に本学を卒業いたしましたので、本誌にて皆様にご挨拶できることを大変喜ばしく感じております。

私は長崎県長崎市出身で、長崎県立長崎南高等学校を卒業後、1991年に宮崎医科大学に入学し、テニス部活動を中心に大学生活を送りました。お蔭様で、直接学生時代が重なっていない先輩方や後輩ともテニスを通じた交流があります。5年時の臨床病理実習で、病理所見から症例の経過を考察できる病理学に興味を持ち、病理学を専攻することを決意いたしました。必然的にテニス部の先輩である畠山金太先生（現国立循環器病研究センター病院 病理部長）と浅田祐士郎先生の所属する病理学第一講座に入局いたしました。なお卒後1年間の内科研修を希望し江藤胤尚名誉教授が主宰する内科学第一講座（現宮崎大学医学部内科学講座 循環器・腎臓内科学分野）にお世話になり、同講座の同門会にも所属しています。宮崎医科大学附属病院の研修医として、3つの内科を研修することで専

門分野の違うたくさんの先生方と面識ができたことは現在の財産となっております。以後研修2年目を附属病院病理部、その後宮崎医科大学大学院へ進学、病理学講座の教員を経て、現在に至りました。動脈硬化やそれを基盤に発症する心筋梗塞などの血栓症、静脈血栓塞栓症などを研究対象とし病理・病態研究を行っています。研究成果は随時教室ホームページ（<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pathophysiology/>）で紹介しております。国内で循環器病理を専門とする教室は少ない状況ですが、それを強みに次世代の育成に励みたいと考えています。

宮崎県内では現在25名の病理医が診療に従事しています。少ない人数ですが、人口10万人に占める病理専門医数では、九州において福岡県に次ぐ2番目の多さで、極めて不足しているという状況ではありません。しかしながらベテランの先生方が活躍されている状況ですので、若い人材を確保し県内の病理診療を充実させたいと考えております。教室員には県外の大学に進学、他県で活躍後、故郷の宮崎にUターンで加わってくれた先生もおります。そのような方の受け入れにも積極的に取り組みたいと思います。

大学の教育・研究に加えて、県内の病理診療を充実させるべく取り組んでいきますので、教室活動へのご指導やご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

就任挨拶



宮崎大学医学部教授就任挨拶

宮崎大学医学部感覚運動医学講座
耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 教授

たか はし くに ゆき
高 橋 邦 行

宮崎県医師会の皆様におかれましてはますます
すご清栄のこととお喜び申し上げます。

2022年10月1日付で、宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 教授
を拝命いたしました。就任にあたりご挨拶申し上げます。

私は東京都生まれ、小学校入学前に千葉市に
転居し、千葉県立千葉高校を卒業いたしました。
1998年に新潟大学医学部を卒業後、新潟大学
医学部 耳鼻咽喉科学教室に入局、県内各地の
病院に勤務いたしました。新潟県は面積が全国
で5番目に広く、近年、厚生労働省が発信した
医師偏在指数では全国1、2位を争う医師少数
県です。そのため新潟県の地域病院では耳鼻咽
喉科領域全体をカバーする診療が求められまし
た。現在よりも労働環境が過酷な医療事情でし
たが、若いうちに多くの耳鼻咽喉科疾患、特に
急性期疾患を経験できたことは現在の礎となっ
ております。

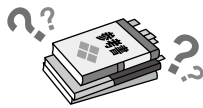
研究面では、2002年より大学院に入学、新
潟大学脳研究所システム脳生理学教室にて、マ
ウス大脳聴覚野の機能解析を行いました。神経
細胞に内在するフラビン蛋白の性質を利用した
自家蛍光イメージング法を用い、マウス大脳聴
覚野内の神経配列の解析と、神経活動の可塑性
について、行動学的研究と生理学的研究を組み
合わせた研究でした。脳研で行った基礎研究
は、臨床に戻ってからも継続し、科研費の獲
得、大学院生の学位取得へと繋がりました。

新潟大学に戻ってからは、耳科学、側頭骨外

科領域の手術を中心に研鑽を積みました。側頭
骨領域は小さな領域に、聴覚、平衡覚を司る器
官、顔面神経、内頸動静脈などがあり、損傷す
ると大きな機能障害が生じます。顕微鏡下の手
術であり、機能を維持したまま側頭骨の中から
病変を摘出するためには高度の技術が必要であ
り、耳鼻咽喉科の中でも手術手技の習得が難し
いとされていました。これまでは実際の手術
On the Job trainingで技術向上を行うことが中心
でしたが、ご献体を用いた手術研修、PC上で
3D画像シミュレーション、側頭骨3Dモデルでの
手術トレーニングなどのOff the Job Training
にも力を入れ、一層の知識、技術の向上、若手
術者の育成を行ってきました。

診療以外では、新潟県、新潟大学において臨
床研修改善のための委員を務め、臨床研修医増
加のための業務を行いました。また新潟大学病
院で医療安全管理部副部長として仕事をさせて
いただいたことは、医療を別の側面から見ると
ても貴重な経験となりました。

宮崎大学耳鼻咽喉科は開講以来、耳科学を中
心とした臨床、研究が教室の中心テーマです。
これまでの伝統を引き継ぎ、耳科学分野を発展
させるとともに、鼻・咽喉頭領域、頭頸部領域
と、耳鼻咽喉科領域全体にわたり、若手医師の
育成、宮崎大学のプレゼンスを高めていきたい
と思います。また耳鼻咽喉科領域に限らず、宮
崎県、宮崎大学の発展に貢献できるよう尽力し
ていきます。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、
よろしくお願いいたします。



あなたできますか？

—令和3年度 医師国家試験問題より—

(解答は31ページ)

1. 全身性強皮症による続発性Raynaud現象の特徴はどれか。
 - a 片側性である。
 - b 家族歴がある。
 - c 若年発症が多い。
 - d 手指腫脹を伴う。
 - e 血圧の左右差を伴う。
2. 成人へのワクチンの筋肉注射について適切なものはどれか。
 - a 注射針は18Gを使用する。
 - b 接種後は接種部位をよく揉む。
 - c 血液逆流を確認後に薬液を注入する。
 - d 注射針は皮膚に対し直角に刺入する。
 - e 接種後は5分間観察して帰宅を許可する。
3. 7歳の女兒。友人の家でエビを摂取した後に急に嘔吐し、意識がもうろうとなったため救急車で搬入された。過去にカニを食べて蕁麻疹が出たことがあった。意識レベルはGCSスコアでE3V3M4。体温36.2℃。心拍数124/分、整。血圧78/52mmHg。呼吸数30/分。SpO₂ 98%（マスク3L/分酸素投与下）。全身は蒼白で膨疹が散在している。両側の胸部で喘鳴を聴取する。直ちに行うべき治療はどれか。
 - a β刺激薬吸入
 - b アトロピン静注
 - c アドレナリン筋注
 - d 抗ヒスタミン薬静注
 - e プレドニゾロン静注
4. 院内肺炎について正しいのはどれか。
 - a 主要な検出菌は肺炎球菌である。
 - b 人工呼吸器関連肺炎は含まれない。
 - c 入院当日に発症した肺炎も含まれる。
 - d 死亡率は医療・介護関連肺炎より低い。
 - e 免疫能低下の患者に生じることが多い。
5. 1歳6か月の健康診査における言語発達の間診として適切なものはどれか。
 - a 自分の名前が言えますか。
 - b 2語文（ワンワンキタ、マンマチョウダイ）などを言いますか。
 - c ママ、プープーなど意味のあることばをいくつか話しますか。
 - d 家族といっしょにいるとき、話しかけるような声を出しますか。
 - e 大人の言う簡単なことば（おいで、ちょうだいなど）がわかりますか。
6. 新生児期の基準値が成人期より高いのはどれか。2つ選べ。
 - a IgM
 - b 総蛋白
 - c 総ビリルビン
 - d クレアチニン
 - e アルカリフォスファターゼ
7. 先天異常と遺伝形式の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 血友病 ————— X連鎖劣性遺伝
 - b 軟骨無形成症 ————— 細胞質遺伝
 - c Marfan症候群 ————— 常染色体優性遺伝
 - d 神経線維腫症1型 ——— X連鎖劣性遺伝
 - e Duchenne型筋ジストロフィー ————— 常染色体劣性遺伝
8. 高齢者の介護予防に重要なのはどれか。3つ選べ。
 - a フレイル
 - b サルコペニア
 - c トキシドローム
 - d アナフィラキシー
 - e ロコモティブシンドローム
9. 6歳の男児。就学前の健康診断で一側の高度感音難聴があると指摘され、母親に連れられて来院した。新生児仮死の既往はなく、発達の異常を指摘されたこともない。新生児期の聴覚スクリーニング検査では両側とも異常はないといわれた。2歳時に耳下腺炎の既往がある。難聴の原因として最も考えられるのはどれか。
 - a 慢性中耳炎
 - b 流行性耳下腺炎
 - c 先天性風疹症候群
 - d 低酸素性虚血性脳症
 - e Treacher Collins症候群
10. 66歳の男性。自宅アパートから出火し、焼け跡から死体で発見された。死因等の特定のために司法解剖された。剖検時の所見でこの男性が火災発生時に生存していたことを示すのはどれか。
 - a 頭蓋内の燃烧血腫
 - b 頸部皮膚のⅢ度熱傷
 - c 気管内の煤付着
 - d 肘関節屈筋の熱収縮
 - e 背部の死斑

随 筆

たそがれワルツ Carpe diem

日南市 医療法人北辰会 北村胃腸科眼科 院長 ^{きた}北 ^{むら}村 ^{まさお}應 旺 (和生)

8月に迎え入れるはずだった“EV様”の到着予定日が次々延期され、ついには来年3月以降、未定となった。オーマイガッ、なんてこったい！馬小屋（車庫）を造り、エサ（充電設備）まで用意してお待ち申し上げていたのに…。頭にきて注文をキャンセルした。よって今日も10年来乗り慣れた愛車を駆って往診に行く。片道15キロ、診察を含めて1時間半。かったるい往復の時間を音楽鑑賞のリフレッシュタイムに変える。車内で聴くのは手作りで編集したオリジナルサウンドトラックだ。最近の車は、豪華なアンプやスピーカーの搭載を自慢げに宣伝するくせに、ちゃんとした再生システムがない。おまけに日南海岸では映らなくなるTVは、要らんといっても付いてくる。まったく人を馬鹿にしている。ガキじゃあるまいし、音楽が携帯なんかで聴けるものか。家ですら観ないTVを誰がわざわざ車で観るもんか。レクサスもトヨタも日産もみ～んな右へ倣えだ。この国に個性はないのか！しかし、私の古い愛車は、CDもDVDもSDカードも、しっかり再生可能なのだ。負け惜しみではない。

往診先はタケじいさん（仮名）家。御年91歳、永年、役場勤めだったという。飄々とされているように見えて、失礼ながら、今一つ肝が据わっていない。当院眼科通院中だったが、息切れがひどくなり、なんとか治して欲しいと内科を受診されたのだ。肺気腫を患っていることは自分でも分かっておられたようだが、治す手立てがないこと、現状維持から徐々に進行する

ことを説明すると、まるで死刑宣告を受けたかのように落ち込まれた。「はっきりおっしゃってですね」「だって、すぐばれる慰めを言ってしまうがないでしょう」通院できなくなったら、在宅酸素療法という治療法があることを説明し、その後も通院を続けておられたが、果たして正月明けに風邪をひいた直後から息切れが増悪。酸素飽和度が90%前後になってきたため、機材を搬入し、往診を開始した。

「夜中に目が覚めて、こんまま息がひっきりッとしゃなかろか、と心配になり眠れんです。そんなときはどうしたらいいでしょうか？」「そんなときは、覚悟を決めて、さようならですなあ。何、まだやり残したことがある？あれば、それをすぐに解決なさい。今ならできる」「そんなもんはないんですけどね」娘さんもそばで聞いている。朝起きて、今日命があることに感謝し、夜寝る前、今日一日が充実していたことに感謝する：「一日一生」という言葉を紹介して、残された日々大切に説いた。「私のような若造が言うのもなんですが、死はだれにでも訪れます。いずれ私も辿る道です。ちっとも特別なことはありませんよ。残された人は少し寂しくなるでしょうけど」と言って「散る桜 残る桜も 散る桜」という良寛の辞世を紹介した。「まあ、長生きしてよいことは、眠るようにスーッと逝けることです。息や心臓が止まるのではないかと心配になるのは不安のなせる業で、まだお迎えが来たのではないことですよ」と付け加えた。帰り際、

「先生、今日はいいい話を聞かせてもらた。説教代も診察代につけといてくださいよ」ときた。こりゃ一本とられたか…「3割引きにしときますわ」と返して患家を出た。活字にするといかにもひどい医者と思われるかもしれないが、場の雰囲気はまるで違うことをわかっていただきたい。ただ、名医なら、破顔一笑、「大丈夫ですよ」というだけで事足りていたとは思ふ。

仏教では“諸行無常”，西洋では“万物流転”と言ひ、日本にも、“いまという いまのときはなかりけり まのとききたればいのときはさる”という古歌がある。洋の東西を問わず、言っていることは同じだ。思うに、“死”もそれで終わりではなく、肉体は元素になって宇宙に戻る。人は死んで星になるというのは本当だ。もちろん星にも寿命があり、太陽よりずっと大きい星が死ぬと大爆発をおこし（超新星爆発supernova）、われわれの身体の前になる炭素を主とした有機元素が大放出される。星も死ぬと人に生まれ変わるのだ（輪廻転生）。今年、「リゅうぐう」から持ち帰られた玉手箱から“生命の種”が発見された。「リゅうぐう」は、“オールトの雲”由来の彗星の核だった可能性が高く、“パンスペルミア説”が再評価されるのではなかろうか。

一方、魂の方は、精神を生み出す脳が機能を止めたのだから、精神（電気）エネルギーのまま留まることはできない。エネルギー不滅の法則によって別のエネルギー、たとえば熱、音、光などに変化するのだろうか。量子になって飛散するという話は後述するとして、一説に、偉人が亡くなると天が悲しんで雷雨を降らすという。たとえばベートーベンのように、よほど精神エネルギーの強い人が亡くなったり、あるいは一度に大勢の人が亡くなると、まるで雷が落ちたかのような現象が起きるのやも知れぬ。ただ、こう考えることはできないだろうか。肉体の消滅と同時に、魂も消え去ったかに見えて、

実は、近しい人の意識の中で生き続けるのだと。たとえば、私の両親は、もう随分前に亡くなっているのだが、いつでもそばに感じるし、会ったこともない司馬遼太郎氏や、ショパン、ダビンチ、ミケランジェロとも、その作品群を通して触れ合うことができる。「生物＝生命機械論」の中で、R.ドーキンスは、これを“遺伝子gene”に対し“ミームmeme”と呼んでいるが、こんなたいそうな名前を付けなくても、実は古くから人々はこのことを知っていた。だからお墓や仏壇を作り、お盆や命日には個人の思い出話をするのだ。かつて織田信長が好んだ小唄がある—“死のうは一定 しのみ草にはなにをしよぞ 一定語りおこすよの”

さて、「人間は、肉体という物質に魂という非物質が宿る」（二元論）と考えたプラトンやデカルトの考えは、臨床医として多くの人の生死に立ち会ってきた経験から、自分でも納得できるものだが、意識の研究のうえでは、このような二元論は有害でしかない。脳＝ニューロンという物質から、どうやって非物質である魂＝意識が生まれるのかを端から諦めてしまっているからだ。普段、あまりに当たり前すぎて考えもしないことだが、我々人間を人間たらしめている喜怒哀楽、愛や憎しみの感情、いろいろな欲望、意欲や意志、素晴らしい芸術に触れて湧き上がる感動、クオリア（主観的質感）など、いわゆる意識として括られる非物質的なものが、一体どうやって物質から生じるのか、そこには“無”の一点からすべてが始まったとする“ビッグバン宇宙論”に通じる根元的な疑問がある。2012年のヒッグス粒子発見以来、宇宙生成や崩壊に関するいくつかの仮説が発表されているが、今一つピンと来ない。量子物理学者は、これを解明しない限り、有神論者と変わりが無いと私は思うのだ。宇宙といえども万物流転・輪廻転生の公理に従っており、ウロボロスの蛇のごとく、そこには始まりも終わりもない

のではなかろうか。

意識の問題に戻ろう。我々の頭蓋内の合わせて1,000億個のニューロンのうち、小脳に800億個、視床―皮質系に200億個が存在するが、シナプスの多さ、神経伝達物質の数など大脳を凌駕する小脳を切除しても、意識には大きな変化が見られない一方で、視床―皮質系が損傷を受ければ、たちまち意識に変動がおり、損傷が大きければ意識は永遠に損なわれる。どうやら、現在のコンピュータが進歩して技術的特異点を越えれば、意識が芽生えるかもしれないという漠然とした考えは否定的だ。どれだけネットワークが増え計算速度が速くなろうと、そこに意識は生じそうにない。情報を統合する仕組みが必須なのだ（統合情報理論）。クリストフ・コッホの「意識をめぐる冒険」やM.マッスイミーニ&J.トノーニ「意識はいつ生まれるのか」を読むと、意識に関する研究がようやく黎明期を迎え、「意識のハード・プロブレム」の核心に迫りつつあることがわかる。量子力学的な重ね合わせの仕組みを取り入れた量子コンピュータがシンギュラリティを迎えたとき、果たして意識が生み出されるだろうか。

人間の意識や知性は、単なる計算（0と1のデジタル処理）では説明・実現できず、ニューロンネットワークだけを扱っている限り、意識生成の根源には辿り着けそうにない。2020年度ノーベル物理学賞を受賞した量子物理学者ロジャー・ペンローズは、「量子脳理論」（心または意識に関する量子力学的アプローチ）を提唱したが、その「統合された客観的収縮理論（Orchestrated Objective Reduction Theory: Orch-OR Theory）」を大胆に要約すれば、意識は量子力学的過程から生まれる：意識とは、量子の実態的存在であり、脳細胞内の微小管（マイクロチューブル）で波動関数が収縮（reduction）するとき、量子各々に付随した意識の基本構成単位としての未知の属性が同時に重ね合わさり、

生物の高レベルな意識が生成する、というものだ。量子は「粒子」と「波」の二つの性質をあわせ持ち、「観測」される直前まで波動関数にて確率的に記述されていた粒子としての性質が観測によって確定＝収縮する（コペンハーゲン解釈）のだが、この波動関数が、観測ではなく1グラビトンの質量差が生じたときに収縮して意識が生み出される：意識の生成は、あくまで自然法則の結果と考えるのだ。もちろん、この問題の解決には、一般相対性理論と量子力学を結ぶ新しい理論＝量子重力理論が必要になるのだが。

現時点で、彼の学説には賛否両論あるが、私には妥当性があるように思われる。理由の第1は「量子生物学」と呼ばれる分野の進展が著しく、光合成をはじめ生命活動に量子活動が関係している事実が次々に明らかになりつつあることだ。加えて、2022年4月、微小管に青色光を照射することにより、量子効果に特有な「遅延発光」が意識発生のタイムスケールと合致して観察され、麻酔薬でこの効果が打ち消されるという実験結果が、それぞれ別の研究機関から発表された。遥か彼方にトンネルの出口が見える気がする。理由の第2は、全く個人的体験だが、初めての子どもを授かったとき、母体から出てきたばかりの赤子の眼差しが、強い意志の力を秘めていたことだ。一体、いつ肉体に意識が宿ったのか。子どもは成長する過程で、徐々に意識が形成されるものと思っていたが、まるで真っ暗闇の中を旅し続けた意識の卵が、中枢神経系が完成した脳を中心に、たった今たどり着いたかのような印象を持ち、感動したのだ。量子脳理論と出会ったとき、このときの疑問が晴れた気がした。他にも疑問点はたくさんあるのだが、まだ黎明期の学問ということで、私としては了解している。

こんな未解明で、専門家すらわからない難問に首を突っ込んで、なにが面白いんじゃ？とい

うご指摘は、甘んじて受けよう。ただ、自分がどこから来てどこへ行くのか（*Quo Vadis*）かねてから関心があった私には、意識が光や電波と同じように、量子の一種だとする学説は衝撃的だった。妻にこの話を振ってみると「万物は量子でできてるんだから当たり前でしょ」とのお答えが…そ、それを言っちゃーおしめーよ。身も蓋もないではないか。「感動する心を失くしたら、老けるよ」とは言えなかったが、そこにロマンを感じ、最先端の知見を知りたいという探求心旺盛な奇特人がここにいることをご理解いただきたい。ただ、量子の持つ「非局所性」という不思議な性質：「量子もつれ」と「粒子と波動の二重性」は、非日常性このうえない概念だが、実は、世界の真の姿は非局所性が普通であり、そこでは瞬時テレポートやタイムスリップさえ普通におこることなのだ。時空（時間と空間）すら派生的なもので、その根源は超幾何学であり、“アンブリチャーヘドロンAmplitudhedron”という手法で導き出されるという。まあ関心のない方は、そこを舞台としたアメコミ映画「アベンジャーズ/エンドゲーム」でも観ておやすみください。

懸念すべきは、最先端科学もここまで来ると宗教と紙一重、悪用されなければいいがと老翁心ながら思ってしまう。だって、微小管なんて、脳以外の組織の細胞にも必須の器官であり、動植物から微生物に至るあらゆる細胞に普遍的に存在するのだから、それこそ「汎神論」に逆戻りではないか！私の考えはこうだ。微小管のような構造があるところでは、量子反応も起こり得るが、それが意識の生成につながるとは限らない。脳の視床に存在するニューロンの微小管で発生した「意識の卵達」（まだ意識ではない）が、ニューロンの発火を引き起こし、視床－皮質系ネットワークを通じて対応する皮質領域に興奮を伝える。そうして統合された各種の情報が「意識」として発現するのだ。意識が発生する

ためには、ニューロンネットワークシステムが必須であり、恐らく、脳を持つ生物では、それぞれの生物の神経ネットワークの発達のレベルに応じて、それぞれの特異な意識が存在するのだろう、と私は考えている。DNA二重らせん構造の発見が遺伝の仕組みを解明し、一気に生命の謎を解く鍵になったように、私が生きているうちに、意識生成の仕組みが解明され、大昔から謎であった我々の魂＝意識の完全な理解につながることを願う。いやしくも理系の最高学府で教育を受けてきた身なれば、“朝（あした）に道を聞かば 夕（ゆうべ）に死すとも可なり”の心意気は持っている。

随分横道に逸れたが、じいさんと年齢に近い92歳になるクリントイーストウッドは、自ら製作・監督・主演した最新作「Cry Macho」で、老いても俺はモテるんだゾ、と気骨で示している。何かの対談で、天国に行ったら100人の美女に出迎えてもらいたいと話していたっけ。作品の出来は措くとして、耳に残る素晴らしいボーカルとギターの音色が、曲がった背中でもろめきながらワルツを踊るラストシーンに彩りを添える。じいさんに今度話してみよう。「クリキンとんイーストって何な？今度、一緒に食らいマッちょ」なんて返してくれたら説教代はロハにするんだが…そんな気力がだんだんなくなってきているのが淋しい。気力は健全なる肉体に宿る。老いて病を得た肉体に気力の灯を点けることは至難の業だ。ただ、過去にも、そして現在も、老いや病に決然と立ち向かう有名・無名の敗れざるヒーロー、ヒロインが数多くいることを私は知っている。それは、老いや病への恐怖、怯懦、他人への羨望や嫉妬、自己の能力への疑惑や失望など、negativeな自分との闘いであり、彼らには、まさに“撃ちてし止まん”（古事記）“死而後已”（論語）の標語が相応しい。S.ウルマンの「青春」という詩の一節にこうある。「青春とは人生のある時期を指すので

はなく、心の持ちようを言うのだ…年を重ねただけで人は老いない 理想と情熱を失うとき人ははじめて老いる…」と。

追記：往診を続けていたタケじいさんが、眠るように旅立たれた。合掌

7月8日、安倍晋三元総理が凶弾に倒れた。私とは同い年、場所や生き方は違えど、同じ時代の空気を吸って生きてきた。郷土の偉人、高杉晋作の一字をもらい、人柄を忍ばせる温和な外見、果敢な行動力と優れた世界観（“地球を俯瞰する外交”“自由で開かれたインド太平洋戦略”）で、世界の要人たちと確かな人脈を築き上げてきた稀有な政治家が、かすかに笑みを浮かべたまま卒然と世を去った。我が国にとって、また、混迷を深める世界にとっても大いなる損失であろう。合掌

8月24日、稲盛和夫氏、老衰にて逝去、90歳。渋沢栄一氏、出光佐三氏と並んで、尊敬する財界人の一人であった。生前のインタビューを拝見すると、若いころから薩摩隼人らしい熱血漢であったと知れる。この人たちに共通するのは、企業人であるにもかかわらず、事業に懸

ける情熱とともに私利私欲がないことで、このことがたくさんの人を引き付けて止まない大きな魅力となっている。業績もさることながら、歩かれた人生そのものに感動を覚える。合掌

10月1日、“燃える闘魂”アントニオ猪木、燃え尽きる。俺らが世代のヒーローの一人であった。稲盛氏は古い、安倍氏と猪木氏は、それぞれ潰瘍性大腸炎、全身性アミロイドーシスという難病と闘いながら、前のめりに倒れた。思うように動かせなくなった身体で必死にリハビリを続けながら「早く逝きたいんだけど、馬場さんが意地悪して入れてくれないんだよ。寛至、もっと闘え！って」なんて言ってたっけ。あっちでもプロレス続けてください。天まで届け！
1, 2, 3, ダァ————— 2022. 10. 22

附註：脳と意識をめぐる比較的新しい研究成果を、私見を交えて面白おかしく紹介しましたが、門外漢である私の理解不足、力量不足のため、誤解を招く表現になっている箇所があれば、どうかご容赦ください。

お知らせ

カット、イラストの募集

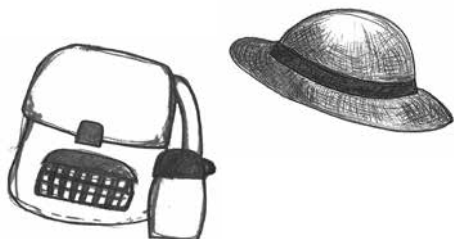
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp



エコー・リレー

(568回)

(南から北へ北から南へ)

色鉛筆画を始めたきっかけ

宮崎市 黒川皮膚科クリニック 黒川基樹



「芸術的センス」という観点からは対極に位置する私が絵画に興味を持つようになったのは、20年あまり勤務した大学を辞して開業した2008年4月のことです。

県医師会から記念品としていただいた版画絵の額縁を探しにある画廊を訪れたのです。当時、趣味といえるものが全くなかった私は、開業を機に何か一生続けられる趣味を持たなければいけないと考えておりました。絵画に関心があったわけでもありませんが、店員さんに軽い気持ちで「この辺にいい絵画教室はありませんか？」と質問してみました。そのときに偶然にも県絵画協会の重鎮の方が来店されており、とんとん拍子に話が進み、その方の一番弟子に色鉛筆画を習うことになりました。私の師匠は親子ほどの年齢差のある若い方ですが、とても心優しい人柄で、丁寧に指導してくれます。彼の作品はとても繊細で奥深く、ぐいぐいと引き込まれていき、あっという間に絵を画く楽しさを実感するようになりました。「いつかは自分の絵で日州医事の表紙を飾りたい」という気持ちをモチベーションに絵画教室に通い続け、4年後に念願が叶ったあの日の感動を鮮明に記憶しています。師匠との出会いに感謝し、今後も更に精進していきたいと思います。

[次回は、綾町の玉置 昇先生をお願いします]

スマホに向かってハミングしてます

日向市 千代田病院 上園繁弘



記憶に残っている音がある。夕餉の匂いの中、微かに聴こえる母の唄声。今晚のおかずは何か？風呂を浴び、TVをつけて、「ごはんですよ」の合図、家族団欒の始まりだ。情景は多すぎてむしろぼんやりとして

いるが、音の記憶は今でも鮮明である。母は芋をむきながら、鯛を捌きながら、何かしら唄っていた。「いつでも夢を」、「松の木小唄」、コトコトコットン、なにかの童謡？まだあったはずだ。今度酒でも酌み交わしながら二人の兄にも尋ねてみよう。

最近スマホの機能を知る機会があり余暇の楽しみが増えた。キーボードを打たなくても音声で検索できるし、偶々出会った芳醇なワインもラベルをパシャリと撮ればお気に入りワインリストの仲間入りだ。コロナ禍の趣味である散歩中、綺麗に咲いている名も知らぬ花が、原産国から栽培法まで説明できる花に。スマホの魔法だ。

同僚に「店で流れている素敵な曲の検索機能があったらいいのにね」と尋ねる。

「え？スマホでできますよ」と、早速教えてもらった。音源にスマホを向ける、すると数秒で曲の動画を手に入れた。母のコトコトコットンをスマホに向かって自分で歌ってみた。1942年作の「森の水車」、作曲は「ヤン坊・マー坊の唄」や「365歩のマーチ」の米山正夫先生、作詞は「月がとっても青いから」の清水みのる先生と知識も加わった。更に自分流の使い方も発見。言い表せない気持ちを込めてハミングすると近いフレーズの洋楽にヒット。名曲ではないが素敵な曲に出会えたserendipity。今夜は共働きしながら3人の子育てに奮闘していた天国の母と一緒に歌ってみることにしよう。「コトコトコットン、仕事に励みましょう♪」皆既月食の夜に、感謝をこめて。

[次回は、宮崎市の堀之内謙一先生をお願いします]

メディアの目



医学の出番

毎日新聞 宮崎支局長
かとう まなぶ
加藤 学

「よーぶくん」というアプリをご存じだろうか。スマートフォンの機能を活用し、身につけるだけで「腰痛リスク」を知らせてくれる宮崎発の腰痛予防アプリである。宮崎大学工学部の田村宏樹教授と県内のIT企業デンサンが共同開発した。今年9月、お披露目の記者会見があり、取材して記事にした。

アプリでは利用者の身長や体重、持っている物の重さを入力し、スマホを衣服の胸ポケットに入れて計測を開始。画面には腰部にかかる負担が折れ線グラフなどでリアルタイムで表示され、一定の数値（3,400ニュートン＝以下、N）を超えるとスマホが振動して警告する仕組みだ。アメリカ国立労働安全衛生研究所は、腰痛予防のため、持ち上げるときに生じる腰椎の椎間板圧迫力の許容限界を3,400N以下とする基準値を設けており、田村教授はそれを参考にしたという。数値化にはスマホに標準搭載されている角度や速度などを測定するセンサーを活用。その情報から立ったり、座ったりする人の状態を推定し、今回独自に編み出したアルゴリズムを使って腰部にかかる圧力を導き出した。腰痛持ちの人の症状が緩和されるわけではないが、少なくとも農業や介護現場における負荷の

かかる重労働に警鐘を鳴らす役割は果たしてくれそうだ。iPhone（アイフォーン）向けの無料版の配信を開始しており、1年後は有償化を目指し、アンドロイド版も開発するという。

iPhoneユーザーの家人がさっそくダウンロードしてみたが、すぐに課題がみつかった。「胸ポケットがある服なんて、持ってないし」。確かに。作業用の服でも着ない限り、なかなか胸ポケットつきはない。そもそも3,400N以下の作業であれば、何時間でも作業をしても大丈夫、とはいえないはずだ。負荷の状況は時間を横軸にして折れ線グラフとなって記されるのだが、どれだけ負荷が蓄積されれば腰にとって黄色信号、赤信号になるのか、知りたいところだ。それは性別や年代によっても、異なるだろう。そうした場合、医学の知見は欠かせない。田村教授は「『限界値を超えたから別の作業方法を考えよう』など、負担が見える化することで作業の改善につなげてほしい。今後はデータを集め、医療の知見を加えるなどして、更に改良したい」と話していた。

今後はいっそうITを活用したさまざまな取り組みが展開される。その際に医学の出番はますます増えるに違いない。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第15回 カルテの記載内容について

**Q.**

私はこれまでカルテには治療に必要な事実や治療経過を記載していました。しかし、カルテは医療過誤で重要な証拠になるとも聞きます。弁護士の視点から見て、何かカルテの記載について注意する点がありますか？

医師がカルテを作成することは医師法上の義務であるとともに、今後の治療を考える重要な資料です。その一方、カルテなどの診療記録は、原則として開示請求を受けると開示しなければならず、医療過誤において重要な証拠ともなります。

そのため、カルテは、患者や家族、ひいてはその依頼する弁護士や裁判所も読む可能性のある医療記録である点に留意してください。そのうえで、カルテを作成するにあたり、以下の点に注意してください。

① 患者が読む前提でカルテを作成すること

患者が見たときに偏見や人格攻撃と感じる書き方は避ける必要があります。例えば、「患者の理解が悪い」ではなく「患者に繰り返し療養上の注意を説明したが遵守しない」と具体的に記載するとよいでしょう。また、医療に関係のない患者のプライバシーなどは記載しないようにしましょう。

② カルテに記載がなければ、その事実が否定されること

「カルテに記載はしていないが、こういう事実があった」という主張が認められる可能性は極めて低いことから、重要な事実の記載は強く意識すべきです。例えば、リスクのある医療行為を行う場合や、患者が医師の指示に従わない場合に行う危険性の説明は、「言った」「聞いていない」の水掛け論になりやすいため、どのような説明を行ったのかを詳細に記載するようにしましょう。

③ カルテに記載された内容は重視されること

医師が何気なく記載した意見や考えでも、カルテに記載された以上は重い内容として取り扱われます。そのため、軽く記載した自己反省の内容が、「医師が事故の責任を認めた」と取り扱われる可能性が十分にありまので、不用意な記載は避けるべきでしょう。医療安全のために主治医の意見は重要ではありますが、これはカルテ以外の内部文書に記載すべきでしょう。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

叙勲・祝賀

瑞宝双光章

あか す まさ みち
赤 須 正 道 先生（延 岡）

令和4年11月3日，学校保健功勞により瑞宝双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



赤須 先生

褒章・祝賀

藍綬褒章

さめ しま てつ ろう
鮫 島 哲 郎 先生（日 向）

令和4年11月3日，保健衛生功績により藍綬褒章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



鮫島 先生



表彰・祝賀

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

あ く ね ひろ のぶ
阿久根 広 宣 先生（宮 崎）
すず き むね おう
鈴木 斎 王 先生（宮大医）

令和4年10月14日、国民健康保険に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



阿久根 先生



鈴木 先生

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

まつ ふじ まさ ひこ
松 藤 正 彦 先生（延 岡）

令和4年10月14日、精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



松藤 先生

表彰・祝賀

精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰

いわ きり みちよ 先生（宮 崎）
岩 切 美千代
まき た しょう へい 先生（宮 崎）
牧 田 昌 平

令和4年10月15日，精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



岩切 先生



牧田 先生

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

ひ が とし のぶ 先生（宮 崎）
比 嘉 利 信

令和4年11月1日，社会保険診療報酬支払基金に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



比嘉 先生

表彰・祝賀

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

かい だ のり お
海 田 紀 夫 先生（都 城）
ほり ひで はる
堀 英 晴 先生（西 諸）

令和4年11月10日，学校保健功勞により文部科学大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



海田 先生



堀 先生



■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は977人（定点あたり28.5）で、前月の79%、例年の52%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎及び手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は特になかった。

感染性胃腸炎の報告数は507人（14.1）で前月の約0.8倍、例年の約0.9倍であった。都城（18.0）、日向（17.5）、中央（16.0）保健所からの報告が多く、1歳から2歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は176人（4.9）で前月の約0.9倍、例年の約0.4倍であった。中央（25.0）、都城（7.7）、延岡（5.0）保健所からの報告が多く、1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向〈2022年10月〉

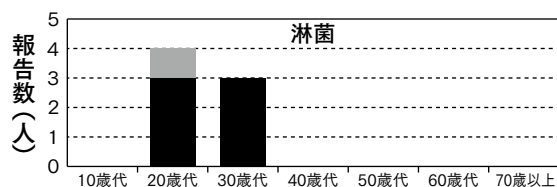
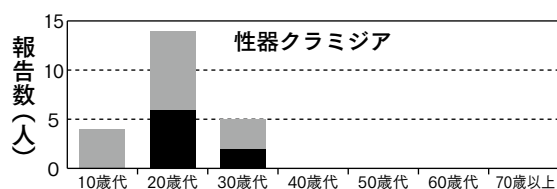
□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人（2.7）で、前月比117%と増加した。また、昨年10月（2.6）と同程度であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人（1.8）で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.3倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性8人・女性15人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人（0.38）で、前月と同率、昨年10月の約0.5倍であった。（男性1人・女性4人）
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約1.8倍、昨年10月の3.5倍であった。（男性6人・女性1人）



■ 男 ■ 女

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は31人（4.4）で、前月比124%と増加した。また、昨年10月（2.4）の約1.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数31人（4.4）で、前月の約1.2倍、昨年10月の約1.9倍であった。70歳以上が全体の約9割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

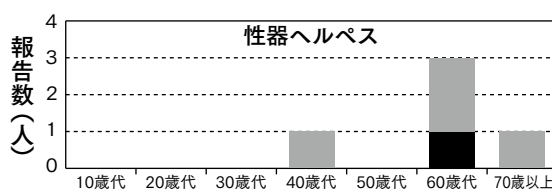
（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2022年10月		2022年9月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	2	0.0	
RSウイルス感染症	67	1.9	165	4.6	
咽頭結膜熱	34	0.9	27	0.8	
※溶レン菌咽頭炎	46	1.3	25	0.7	
感染性胃腸炎	507	14.1	637	17.7	
水痘	13	0.4	7	0.2	
手足口病	176	4.9	202	5.6	
伝染性紅斑	2	0.1	5	0.1	
突発性発しん	83	2.3	104	2.9	
ヘルパンギーナ	36	1.0	18	0.5	
流行性耳下腺炎	3	0.1	1	0.0	
急性出血性結膜炎	0	0.0	2	0.3	
流行性角結膜炎	10	1.7	15	2.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



各都市医師会だより

西白杵郡医師会

会長 うえ まつ まさ とし
植 松 昌 俊

私が西白杵郡の医師会長に就任したのは令和2年のことです。一方、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、令和元年12月初旬に、中国の武漢市で第一例目の感染者が報告されてから、わずか数か月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となっています。私の会長就任以後の期間は、そのまんまコロナ対策の期間となっています。すなわち、どんな会合も開けていないのです。その間、2回開催された総会も紙面での開催。忘年会、新年会なども開催できていないのです。各種勉強会もWebで開催となり、他愛のない冗談も聞けない状態が続いています。以前は研究会などに出席しても、「懇親会などなくてもいいのに？」と思っていましたが、今はその重要性を実感しています。若い医師の入れ替わりの多い、当地にある3つの国民健康保険病院の先生方とは一度も会わないまま異動なされた先生もいらしてさみしい思いをしています。当地でも、令和3年2月中旬から新型コロナワクチンの接種が開始され、現在も続いています。たまに顔を合わせる機会があったとしても、そのお手伝いに伺った際に、他院の先生方に挨拶する程度です。何ともさみしい限りです。

また、感染症の専門家は今年の冬は新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時感染に警戒感を示しているとの報道もあります。今更ですが、わが国の季節性インフルエンザの発生は、毎年11月下旬から12月上旬頃に始まり、翌年の1～3月ごろに患者数が増加し、4～5月に減少していくパターンです。一方、宮崎県においては8月11日から9月21日までは医療非常事態宣言であったのが、9月22日からは医療緊急警報へと緩和されています。宮崎県では、ひなた飲食店認証店を利用する場合でも、感染リスクの高まるような大人数、長時間での会食は控えるよう行動要請を求められています。今年も西白杵郡医師会の先生方と一堂に会するのはまだまだ先になりそうです。



西白杵郡医師会新役員

役 員 等 名 簿（任期 令和 4 年 6 月 1 日定例総会終結後～令和 6 年 5 月31日定例総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	植松 昌俊	精神科	国見ヶ丘病院	会務全般，健康教育，倫理向上，医療安全
副会長	佐藤元二郎	内科，胃腸科，小児科	佐藤医院	生涯教育，医療保険，介護保険
理 事	古賀 志朗	内科，胃腸科，小児科	古賀医院	情報システム，予防接種
”	久米 修一	外科	高千穂町国保病院	地域医療，諸規定検討
”	塩月 康弘	整形外科	高千穂町国保病院	
”	崔 林承	消化器外科	五ヶ瀬町国保病院	公衆衛生・感染症，勤務医部会
”	押方 慎弥	内科	高千穂町国保病院	会員福祉
”	佐藤 祐二	内科	高千穂町国保病院	
監 事	興梠 知子	小児科	高千穂町国保病院	医師確保対策，医療関係者対策

各都市医師会だより

宮崎大学医学部医師会

会長 帖 佐 悦 男
ちょう さ えつ お

県医師会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和4年6月、宮崎大学医学部医師会が新たな役員体制となりました。今回、この誌面をお借りして紹介させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本会は、医道の高揚、医学・医術の発展普及と公衆衛生の向上を図るとともに、互助の精神をもって相互の啓発を図ることを目的として設立されています。いまだwithコロナではありますが、副会長の賀本敏行先生、理事の落合秀信先生、鈴木斎王先生、七島篤志先生、盛武浩先生と監事の竹島秀雄先生、恒吉勇男先生ならびに道鬼安男事務局長を構成員として、県民の健康と幸せを守るために県・都市医師会、行政や関係機関と連携し、引き続き宮崎県医師会・日本医師会の事業に貢献する所存です。

また、学内でも、鮫島浩学長、宮崎大学医学部附属病院ならびに宮崎大学医学部医師会も新体制となり医学部や他学部と連携しながら活性化し、診療、地域医療貢献を軸に教育、研究を行ってまいります。

宮崎県では、新型コロナウイルスの爆発的感染拡大のため8月11日から医療非常事態宣言が発出され、日常生活の行動制限はもとより多くの医療スタッフが出勤停止になったこともあり、医療体制が逼迫し医療崩壊寸前になりました。しかし、医師会会員を含めた医療関係者、県民や行政などの連携により何とか乗り切り、9月22日に医療緊急警報へと変わりました。ただ、医療緊急警報にはなりましたが、まだまだ多くの新規感染者が発生しており、第8波の到来も憶測されています。どのような状況になりましても、これまでの経験を基に県民一丸となり準備することが最善の対策と考えています。

宮崎県医師会の皆様には、with/postコロナにおきましてもこれまで以上のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



宮崎大学医学部医師会新役員

役員等名簿（任期 令和4年6月1日～2年後の6月教授会の日まで）

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	帖 佐 悦 男	病院長
副 会 長	賀 本 敏 行	発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野教授
理 事	落 合 秀 信	病態解析医学講座救急・災害医学分野教授
”	鈴 木 斎 王	附属病院患者支援センター長特別教授
”	七 島 篤 志	外科学講座肝胆膵外科学分野教授
”	盛 武 浩	発達泌尿生殖医学講座小児科学分野教授
監 事	竹 島 秀 雄	臨床神経科学講座脳神経外科学分野教授
”	恒 吉 勇 男	病態解析医学講座麻酔生体管理学分野教授

宮崎大学医学部だより

社会医学講座 ー生命・医療倫理学分野ー



いたい こういちろう
板井 孝老郎 教授

当教室の前身は、宮崎医科大学であった平成14年4月、私が専任講師として着任しました折、基礎教育講座「哲学・倫理学」教室としてスタートし、平成15年に宮崎大学

医学部となりました際、講座再編にともなって「社会医学講座生命・医療倫理学分野」となりました。その後、平成22年4月より、板井が初代教授として着任させていただいております。また、平成26年4月より新設された宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科「生命倫理コーディネーターコース」では、コース長として、宮崎県内のみならず、鹿児島、熊本、静岡、東京など、他県の医療機関から計9名の大学院生（修士）を迎え入れ、5名の学位取得者を送り出しました。現在4名が在籍しており、来年度も静岡の医療機関より1名の入学者を迎えることが決まっております。これまでの入学者は理学療法士や専門看護師（CNS）がほとんどでしたが、来年4月入学予定者は小児科の医師で、本コース始まって以来、はじめて臨床医を迎え入れることになりました。

このコースでは、先端研究や臨床研究における倫理ガバナンス、並びに臨床現場における倫理支援を担いうる人材育成を目的とした教育プログラムであり、「生命倫理」に精通したコーディネーターとしてのコミュニケーション能力の修得を目指しております。修了生は、医科学的知識のみならず、法的・倫理的知識に精通し

た「臨床倫理アドバイザー」として病棟スタッフをバックアップする倫理的支援体制の中心的人材となり、病院機能評価においても求められている「臨床倫理委員会」および「臨床倫理コンサルテーションチーム」を担当する、コア・メンバーとして活躍することが期待されています。

また、宮崎大学医学部附属病院において、上記の「臨床倫理委員会」および「臨床倫理コンサルテーションチーム」を統括・管理するために平成24年より、中央診療部門に「臨床倫理部」が設置され、当方が部長を務めさせていただいております。現在、臨床倫理部副部長に、医療安全管理部長でもある綾部貴典教授に兼務していただいております。事務職員の三浦由佳里（上級臨床倫理認定士有資格者）の3名体制として、安全管理部や薬剤部とも連絡・連携を図りつつ、臨床倫理コンサルテーションに対応しています。

当院の臨床倫理コンサルテーションにおいては、医薬品の適応外・禁忌使用、DNARや延命治療の差し控え・中止の問題、宗教的理由による輸血拒否のケース、身寄りのない方の治療方針をめぐる倫理問題など、多種多様な相談を受け付けています。緊急性をともなう極めて迅速な判断を要する事案については、数人で構成された「臨床倫理コンサルテーションチーム」が状況を確認、内容の検討を行い、現場への助言・回答をフィードバックするシステムを構築しております。初年度（2012）の相談件数は20件でしたが、年度ごとに増加し（43件、50件、83件、105件、135件、147件、131件）、2020年度160件、2021年度160件と増加し、コロナ感染に関連する相談も含まれていました。今後も更に一層の「倫理支援体制」の充実に向けて尽力してまいります。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(精神科医会)

よしだ けんせい
吉田 建世 会長

宮崎県精神科医会は、令和4年9月1日現在、A会員が38名、B会員が120名、大学と行政関係の医師であるC会員が22名の、合計180名で構成されています。地域別では、県北45名、県央86名、県南49名となります。

役員は、令和4年4月の改選で、これまで長年監事を務めていただいた野崎病院の後藤勇先生に代わり、新監事に大悟病院の林要人先生にご就任いただき、理事は、藤元病院の竹内康三先生といわきりこころのクリニック岩切美千代先生に代わって、都城新生病院の河野仁彦先生と宮崎東病院の橋口浩志先生に新しく就任いただきました。その他の役員は、前期と同じメンバーが継続しております。

令和3年度からも、前年度と同じように新型コロナウイルス感染症の影響で、精神科医会の行事が対面で行えていません。

1年間の事業としては、年1回の総会と、年2回の学術研究会としての『宮崎県精神科医会懇話会』を開催しておりますが、前回報告以降の、令和3年度は、6月の『総会』は書面決議とし、6月12日開催の『第84回懇話会』は44名の会員が参加し、教育講演「宮崎県国保連合会におけるレセプト審査の現状」を井上病院理事長、井上雅文先生に担当していただき、特別講演を鹿児島大学精神機能病学分野教授、中村雅之先生に「ベッドサイドから考える気分障害の分子遺伝学」と題し、ご講演をいただきました。

12月4日の『第85回懇話会』もWeb開催として、29名の会員が参加し、教育講演「最新の

レセプト審査の現状と今後の課題」を、鯉島病院理事長、鯉島哲郎先生にご講演いただき、特別講演には、岡山大学精神神経病態学教授、山田了士先生に「精神医学と神経学のクロストーク～てんかんを中心に～」と題して、ご講演をいただきました。また、機関誌『会誌』第36号を11月に発行し、「生きる力」を育む健康教育事業に5名を学校に派遣し、宮崎日日新聞「きゅんと」に2名が寄稿しました。

令和4年度においては、6月の『総会』も書面決議としましたが、6月11日開催の『第86回懇話会』はWeb開催で52名が参加し、教育講演①は「COVID-19流行下におけるリエゾン精神医療について」と題して、宮崎大学精神医学分野の治田彩香先生にご講演をいただき、教育講演②「審査機関の方針と診療報酬の請求対策」を協和病院理事長、堀徹也先生にご講演いただきました。特別講演には、九州大学臨床心理学講座教授、黒木俊秀先生に「精神科専攻医のための精神療法入門」と題してご講演をいただきました。すべての特別講演の座長は、宮崎大学精神医学分野教授の石田康先生をお願いをしました。また、機関誌『会誌』第37号をもうすぐ発行の予定で、「生きる力」を育む健康教育事業に、今年度は4名を学校に派遣し、宮日ホームマガジン「rapia」に1名が寄稿し、宮崎日日新聞「きゅんと」に2名が寄稿の予定です。

最後になりますが、コロナ禍の中、どの専門分科医会でもご苦勞されていることと存じますが、私どもも肅々と医会の行事を行って、勤めを果たしたいと思っております。

もう少しの辛抱です。頑張っていきたいと思えます。

県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会

と き 令和4年10月25日(火)

ところ 県 医 師 会 館

来年度の県政に関する要望を行うために本会主催で開催した。市来常任理事の司会により開会し、河野会長、重黒木福祉保健部長、吉村病院局長の挨拶の後、郡市医師会からの要望もふまえ取りまとめた下記の事項について県へ要望し、意見交換を行った。

要望事項

1 医師確保について（金丸常任理事）

2 子どもの発育段階に応じた医療の充実について（高木常任理事）

- 1) 移行期医療支援センターの設立について
- 2) 県立学校医報酬およびコロナ禍における県立学校の児童・生徒の心臓検診料金単価について
- 3) 学校健診時における脱衣の考え方について
- 4) 教職員50名以上の学校における産業医の選任について
- 5) 三種混合ワクチン接種の補助事業について
- 6) 県央地区における小児の時間外診療について

3 妊娠期からの子育て支援のために

（上山理事）

- 1) 産婦人科医師の人員確保について
- 2) 妊産婦のトータルケアについて
- 3) 性教育統合支援センターの構築について
- 4) 助産師養成に関して

4 スポーツメディカルセンターの早期実現とスポーツ外来の設置について（大塚常任理事）

5 女性医師支援について（上山理事）

- 1) 「みやざきドクターバンク」の充実



2) 女性医師復職・再研修・キャリアアップ支援

3) 保育支援サービス事業の継続

6 医師会立看護師・准看護師養成校への財政支援と、県立病院の採用について

（赤須常任理事）

1) 医師会立看護専門学校に対する支援について

2) 県立病院の看護師採用について

7 地域包括ケアの完成に向けて（石川常任理事）

8 救急災害について（落合理事）

- 1) 災害時における医療供給体制整備について
- 2) 県北地域の消化管輪番制・脳血管障害輪番制度について（延岡市医師会）

9 新型コロナウイルス感染症対策について

（吉田常任理事）

- 1) 感染長期化にともなう医療機関への支援
- 2) 自宅療養者のフォローアップと外出自粛要請
- 3) ワクチン接種推進と安定供給
- 4) 変異株への対応

- 5) 罹患後症状（後遺症）を呈する患者の実態把握
- 6) 宿泊療養施設の確保
- 7) 高齢者施設などへの支援
- 8) 新型コロナ患者外来診療受入医療機関支援事業の補助条件見直し
- 9) 本会への情報共有と連携強化，県から国への提言・要望
- 10 医師の働き方改革について（池井常任理事）
- 11 物価高騰による医療機関等への財政支援について（赤須常任理事）
- 12 オンライン資格確認導入への対応について（荒木常任理事）

出席者

【県福祉保健部】

重黒木部長，児玉（福祉担当）・和田（保健・医療担当）次長，椎葉部参事，有村部参事兼感染症対策課長，柏田福祉保健課長，長倉医療政策課長，

川添薬務対策課長，新藏国民健康保険課長，福山長寿介護課長，佐藤医療・介護連携推進室長，藤井障がい福祉課長，市成健康増進課長

【病院局】

吉村局長，大東次長兼経営管理課長

【教育庁】

山田財務福利課課長補佐，原田スポーツ振興課健康教育担当副主幹

【県医師会】

河野会長，山村・小牧副会長，荒木・市来・金丸・池井・石川・高木・嶋本・赤須・大塚・吉見常任理事，峰松・佐々木・玉置・上山・田畑・落合・山中・河原・吉村理事，竹崎事務局長，園山次長，久永・松本・牧野・野尻課長，畠中・羽田野主事，杉田医師国保組合事務長，小川医師協同組合事務長，大野・鳥井元医師協同組合課長

.....

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	d	c	e	c	c, e	a, c	a, b, e	b	c

宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議

と き 令和4年10月28日(金)

ところ 県 医 師 会 館

荒木常任理事の進行により開会。はじめに、県医療事故調査支援団体連絡協議会の河野会長から挨拶があり、本県の医療安全の取組みへの協力について、各関係団体および各委員に対して謝辞があった。続いて、県医師会医療事故調査支援委員会の比嘉委員長から、これまで30件の貴重な事例が調査報告書として医療事故調査・支援センターへ報告された。当該医療機関においては、院内の医療安全マニュアル改訂も見られ組織の医療安全の更なる構築にもつながっている。今後も医療機関などの医療安全の取組みをサポートし、医療事故調査制度の正しい理解の普及にも尽力していきたいと挨拶があり、報告・協議に入った。

1 報 告

1) 宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会について

荒木常任理事から、協議会の趣旨などについて説明があり、現委員の任期は来年9月末までで、協議会会長は、同設置要綱第4条第2項の規定により、県医師会の河野会長が引き続き務めることが報告された。

2) 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会について

荒木常任理事から、本会役員の交代について説明があり役員を退任された濱田政雄前副会長は、副委員長および常任委員として引き続き就任することが報告された。

2 意見交換

1) 医療事故調査・支援センターの現況報告 及び宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 の支援状況について



意見交換会に先立ち、荒木常任理事から、医療事故調査・支援センター（全国）の現況について報告があった。制度発足の平成27年10月から令和4年9月末までの医療事故報告件数は2,451件、院内調査結果報告件数は2,148件、相談件数は12,730件、医療機関が作成した調査報告書に疑義がある場合などに実施されるセンター調査の依頼件数は192件となっている。また、人口100万人あたりの医療事故発生報告件数（制度開始からの累計）を1年換算した件数は、本県は、最も多かった三重県と京都府の5.2件に次いで4.9件となっていることが報告された。

本委員会の支援状況については、はじめに荒木常任理事から、制度発足時の平成27年10月から現在までの累計の相談件数や調査報告件数などの説明があった。累計では、相談件数が47件で、そのうち医療事故調査・支援センターへ事故発生報告した事例が37件、院内医療事故調査を終え当該センターへ調査結果を報告した事例は

30件となっている。また、相談件数47件のうち、初期・初動支援要請件数は23件で、その内訳は、事例の対象となるか否かの相談が最も多く19件であったことが報告された。続いて、比嘉委員長および下藺・吉住・寺尾・眞柴副委員長から、直近の事例を中心に進捗状況などの報告があった。

意見交換では、医療事故調査制度の対象となるかの判断については、管理者だけで

は判断が難しい事例もあるため、まずは本委員会に相談いただくよう周知を図る必要があることや、医師法21条の解釈について意見交換がなされた。

最後に、比嘉委員長から、本県の貴重な事例をふまえた医療事故調査制度をテーマに開催される会員向けの医療安全対策セミナーの予告があった。

出席者－県医療事故調査支援団体連絡協議会

県医師会長 河野会長
県薬剤師会長 小山委員
県助産師会長 森委員

県医師会医療事故調査支援委員会

宮崎東病院名誉院長 比嘉委員長（常任委員）
都城医療センター院長 吉住副委員長（常任委員）
県立宮崎病院副院長 眞柴副委員長（常任委員）
県立延岡病院長 寺尾副委員長（常任委員）
介護老人保健施設むつみ苑施設長 下藺副委員長（常任委員）
はまだレディスクリニック院長 濱田副委員長（常任委員）
宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部教授 綾部委員
宮崎大学医学部病理学講座腫瘍・再生病態学分野教授 片岡委員
宮崎大学医学部社会医学講座法医学分野教授 湯川委員
宮崎病院長 宮尾委員
千代田病院長 中村委員
古賀総合病院長 今村委員
宮崎生協病院医療安全委員会委員長 山岡委員
潤和会記念病院副院長 濱川委員
宮崎江南病院長 白尾委員
県精神科病院協会名誉会長 高宮委員
県歯科医師会常務理事 崎山委員
県薬剤師会副会長 本田委員
県臨床工学技士会医療機器安全対策委員会委員長 松岡委員
県医師会副会長 山村委員（常任委員）
〃 小牧委員（常任委員）
県医師会常任理事 荒木委員（常任委員）
〃 市来委員
〃 金丸委員（常任委員）

事務局－園山次長、久永課長、湯浅課長補佐

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 令和4年11月3日(木・祝)
ところ ハイビスカスゴルフクラブ

2年ぶりの開催となった親善ゴルフ大会は、爽やかな秋晴れの下、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、19名の先生方が熱戦を繰り広げました。

競技方法は、18ホールズストロークプレイ、ダブルペリア方式（同ネットの場合は年長者を上位）で、今大会も、来年5月に岐阜で開催される「第5回全国医師ゴルフ選手権大会（チャンピオン戦）」の出場を掛けた戦いとなりました。

団体戦は宮崎チームが優勝、個人戦は、年齢別にA・B・Cの3組に分けて行い、A：栄四男先生（宮崎）、B：渡邊裕之先生（日向）、C：小島慎平先生（宮大医）がそれぞれ優勝されました。

また、「第5回全国医師ゴルフ選手権大会（チャンピオン戦）」には、棚田敏文先生（宮崎）と小島慎平先生（宮大医）が出場される予定です。

成績は以下のとおりです。

【団体戦】 (敬称略)

	郡市名	NET合計	各郡市 NET 上位 3 名					
優勝	宮崎	222.0	栄 四男	72.4	棚田 敏文	74.6	福留 真二	75.0
準優勝	都城	222.6	江夏 剛	73.8	瀬ノ口洋史	74.0	久保田秀紀	74.8

【個人戦】

		氏 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET	備 考
A	優勝	栄 四 男	49	45	94	21.6	72.4	
	準優勝	棚 田 敏 文	41	36	77	2.4	74.6	
	3 位	田 村 正 三	49	47	96	19.2	76.8	
B	優勝	渡 邊 裕 之	47	43	90	18.0	72.0	
	準優勝	久保田 秀 紀	39	43	82	7.2	74.8	
	3 位	吉 山 賢 一	41	45	86	9.6	76.4	
C	優勝	小 島 慎 平	35	36	71	1.2	69.8	総合優勝
	準優勝	江 夏 剛	44	43	87	13.2	73.8	
	3 位	瀬ノ口 洋 史	44	42	86	12.0	74.0	
BG賞		小 島 慎 平						
NP賞		岩村 威志, 江夏剛, 久保田秀紀, 瀬ノ口洋史, 棚田敏文, 福留真二, 義川剛太郎						

※NP賞は五十音順



団体戦優勝**宮崎市郡医師会チーム**

初めて参加させていただきました、ふくどめ耳鼻咽喉科の福留真二と申します。天気と同伴競技者に恵まれ、初参加でも楽しくプレーすることができました。レベルの高い宮崎県の医師会ですので、宮崎チームの団体優勝に貢献できたことを光栄に思います。

同伴させていただいた先生方では、田村先生のパワフルなドライバーショット、吉山先生の匠の寄せ技とパッティング、渡邊先生のキレのあるショットと飛距離に圧倒されながらも、なんとか粘ってプレーすることができました。栄先生と棚田先生に続いて宮崎チーム3番手で、都城チームにわずか0.6差で勝利することができました。

来年もまた参加させていただきたいと思いますので、ご参加された先生方、医師会事務局の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。
(福留 真二)

総合優勝**潤和会記念病院 泌尿器科 小島 慎平 先生**

素晴らしい天気と同伴競技者に恵まれ、総合優勝をさせていただきました。棚田敏文先生、古賀倫太郎先生、ありがとうございました。

朝イチの1番ホールをダブルボギーでスタートした時はヒヤッとしましたが、そこから持ち直してホッとしております。

去年の5月に岐阜で開催された全国医師ゴルフ選手権大会では、私が難しいセッティングに苦勞してしまい、団体戦2位という結果に終わりました。次は必ずコースに打ち勝ち、団体優勝のご報告ができるよう気合を入れてまいります。

参加された先生方、運営の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(小島 慎平)



九州医師会連合会第403回常任委員会

と き 令和4年10月1日(土)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー

1 挨拶

九州医師会連合会長（大分県河野会長）

2 報告

1) 第122回九州医師会医学会分科会の出題状況について（大分）

11月27日(日)に大分市内で開催される7分科会のうち、一般演題を募集する3分科会の申込演題数の報告が行われた。

2) 令和4年度隣接ブロック当番県・次期当番県医師会長会議について（大分）

近畿、中国四国、九州ブロックの当番県、次期当番県の医師会長が集まり、12月17日(土)に広島市で「府・県医師会が直面する課題及び対応」と「ブロック医師会の運営・連携」に関する意見交換を行う旨の報告が行われた。

3 協議

1) 九州医師会連合会第404回常任委員会並びに第124回臨時委員総会（11月25日(金)大分市）の開催について（大分）

令和4年度の事業現況と歳入現計などの報告に加え、宣言決議（案）を検討する旨の説明が行われ原案どおり承認された。

2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会（11月26日(土)大分市）における日本医師会に対する質問・要望事項について（大分）

「リフィル」、「オンライン診療」、「オンライン資格確認」、「物価高騰」、「感染対策向上加算などの算定要件」、「新型コロナウイルス感染症」、「看護師等養成所への財政

支援」など、九州各県から出された5つの質問と4つの要望すべてを日本医師会に提出することが承認された。

3) 第122回九州医師会連合会総会における宣言・決議（案）について（大分）

事前に九州各県から指摘されていた項目に加え、「事務職員不足への対応」などを反映した宣言・決議（案）の原案が承認され、次の臨時委員総会を経て、総会に上程していくことが承認された。

4) 第7回九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当事連絡協議会（令和5年1月21日(土)・22日(日)大分市）の開催について（大分）

2日間の日程で、日医「災害医療総論」を含めた研修会と担当事者会を開催することが承認された。

5) 九州医師会連合会第405回常任委員会並びに第2回各種協議会（令和5年2月4日(土)大分市）の開催について（大分）

報告会を含む各種協議会を開催することが承認され、近く九州各県に開催種目を照会することとなった。

4 その他

1) 九医連から推薦する日本医師会会内委員会委員の就任状況について（大分）

すでに日本医師会にお願いしている九医連および日医会長推薦依頼計62名のうち、9月27日現在で48名が確定している旨の報告が行われた。

2) 九州医師会医学会総会等諸行事の来賓等について(大分)

日本医師会名誉会長の横倉義武先生および7月の参議院議員通常選挙福島選挙区で初当選を果たした星北斗先生に参加いただくことを確認した。

3) 九州学校検診協議会会則の見直しについて(福岡)

昭和63年に福岡県メディカルセンターが受託して以降、調整が必要な部分も出て来ていることから、実際の運営に合わせて会則を見直していくことが承認された。

4) 第31回日本医学会総会2023東京の参加登録について(福岡)

あらためて早期事前参加登録(10/31まで)および事前参加登録(4/7まで)の協力要請が行われた。

5) 福岡県における医療機関等への物価高騰対策について(福岡)

先行事例として、福岡県が福岡県議会に要望後、確定した補助金(案)の報告が行われた。

出席者－河野会長、竹崎事務局長

お知らせ

年末・年始の休館について

県医師会館(医師会、医師国保、医師協同組合、病院企業年金基金)は年末・年始休業のため、下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

期 間 令和4年12月29日(木)～令和5年1月3日(火)
緊急連絡先 総務課長 080-5259-8429
事務局長 090-9572-1385

九州各県医師会学校保健担当理事者会

と き 令和4年11月5日(土)

ところ 福岡県医師会館

熊本県の林田理事の司会により開会、水足副会長より挨拶があった。続いて、長崎県の藤井副会長から、7月30～31日に長崎県担当で開催された「第66回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和4年度九州学校検診協議会（年次大会）」についてお礼が述べられた。その後、慣例により熊本県の水足副会長が座長に選出され、協議が行われた。



協 議

1 第67回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和5年度九州学校検診協議会（年次大会）について（熊本県）

下記の日程で行う旨の説明があり、原案のとおり承認された。

日時：令和5年8月5日(土) 15:00～20:30

8月6日(日) 9:00～15:00

場所：ホテル日航熊本

メインテーマ：「将来へつなぐ学校保健
～感染症と多様性～」

2 県立学校における産業医の選任並びに報酬額について（福岡県）

令和元年8月の本会議において熊本県および鹿児島県より提案がなされるまで、福岡では20年以上にわたり、産業医の選任義務のある職員数50名以上の県立学校において、学校医の中から選任された健康管理医が一律の年額報酬（71,300円）で教職員の健康管理を行っていたことから、同年10月に福岡県教育委員会に対し、産業医の選任義務のある学校における産業医の選

任、並びに職務内容および職員数に応じた報酬額の設定について要望した。その結果、令和3年度より原則としてすべての学校における産業医の選任、並びに職務内容および職員数に応じた報酬額が設定されることとなった。また、民間企業などの産業医報酬額と同等の適切な額となるよう本会と福岡県教育委員会にて協議を重ね、今年度増額された。国などにおいて、報酬額の目安が示されていない現状であるが、各県の現状や対応についてお伺いしたい。

各県回答

教職員数50名以上の県立学校について、産業医が配置されている県と、体制整備が追いついていない県があることが分かった。各県教育委員会に対し、産業医が配置されている県は報酬の増額について、配置されていない県は他県の状況を参考としながら、体制整備と適切な報酬額の設定について、協議の場を持つとの回答であった。宮崎県においては産業医配置がなされていないこ

とから県に改善を求めている。

3 学校健診（内科・眼科・耳鼻科）の健診単価について（沖縄県）

学校健診単価については、各県、各郡市医師会に差があり、かつ各県教育委員会との契約においても健診単価の改定が行われていない状況である。自院の診療と並行して実施していただいている学校医並びに協力医の先生方へ適切な報酬を提供するためにも、九州各県においての健診単価をご教示いただきたい。

各県回答

健診単価の設定がある県においては、積

算根拠が異なり、県立、市町村立ともに単価額に差があるとのことであった。また、宮崎県のように健診単価の設定がない県においては、学校医報酬に生徒数に応じた健診料が含まれている。福岡県においては、各市町村教育委員会の報酬額を調査し、その取りまとめ資料を各医師会に情報提供することによって、金額交渉の際の資料として活用しているとのことであった。

出席者－高木常任理事，野尻課長，横山主事

県医師会館大規模修繕工事について

現在、宮崎県医師会館は、竣工から15年目の大規模修繕工事を行っております。

工事中は、騒音や駐車場の減少などご迷惑をおかけいたします。

安全確保に十分な対策をしておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

工事期間

9月12日から2月初旬（予定）

工事時間

8：00～17：00

※ 近隣住民への配慮および会議・研修会などへの影響をできるだけ減らすため、土・日・祝および平日17：00以降は原則作業をしません。

全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会【Web会議】 第72回定例総会・令和4年度第1回運営委員会

と き 令和4年9月17日(土)

ところ 宮崎県医師会5階会議室

令和4年度の全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会は、秋田県医師会の担当で開催された。新型コロナウイルス感染症の影響で、一昨年、昨年に引き続きオンラインでの開催となった。

協議会会長挨拶 秋田県医師会長 小泉ひろみ

新型コロナウイルス感染症拡大のため、この2年間はWeb開催となっていた。秋田県ではぜひ対面で行いたいと児玉前会長が申し上げたが、感染拡大のため願いは虚しく、第7波の勢いの強さと、それによる各地域での医療逼迫を受けて、数週間前に対面での開催を断念したところであった。

2024年に始まる医師の働き方改革も間近に迫ってきている。この中で医師の負担を軽減するタスクシフト・タスクシェアの持つ意味はとても重要で、その一端を担う医療秘書の役割は年々増していると考える。前回の診療報酬改定においては、医師事務作業補助体制加算の改正があり、各病院ではこぞって医療秘書の採用が進んだ。現場では、医師の業務の大きな負担である、文書類の作成補助などに大きく貢献している。私も長年勤務医として勤めてきたが、医療秘書なしには病院勤務できないとまでなっていた。それほど勤務医にとっては、なくてはならない存在になっている。

本日、日本医師会から茂松副会長、釜范常任理事にご参加いただいている。日本医師会の激務の中ご参加いただき、感謝申し上げる次第である。

秋田県では2019年から医療秘書養成学校として、秋田コアビジネスカレッジが参加し、秋田県医師会も本協議会に参加するようになった。資料を拝見すると昭和40年に発足した伝統



ある協議会とのことで、日本医師会が医療秘書の重要性を早くから認識し、尽力してきたことが分かる。このような流れの中、診療報酬改定も行われたということを再認識した次第である。

今後、更に日本医師会認定医療秘書という職種が一層認識され、活躍の場が広がることを祈念してやまない。最後にこの定例総会が実り多いものであるように活発な意見交換をよろしく申し上げる。

来賓祝辞 日本医師会副会長 茂松 茂人

松本会長より挨拶を預かっているので代読させていただきます。

「今年度は来年2月5日に第43回医療秘書認定試験の実施を予定している。愛知県医師会副会長の野田正治委員長をはじめとする試験委員会の先生方には、試験の円滑な実施に向けて大変ご尽力をいただいていることにあらためてお礼を申し上げる。

我が国における新型コロナウイルス感染症の流行から、はや3回目の秋を迎えた。第7波による新規感染者への対応など、医療現場は依然と厳しい状況である。県医師会の先生方をはじめ、医療従事者の皆様方に深甚なる敬意を表する。更に、現在、今冬のインフルエンザとの同

時流行も見据えた、次の波への対策、これまでの教訓をもとにした次の感染症危機への体制づくりが同時並行で求められている。先日検査試薬や検査キットなどの優先供給、財政支援の継続など加藤厚生労働大臣に直接要望書を提出し、速やかに対応いただいた。今後も国に対しさまざまな要望をしてまいる所存である。また、学校関係者の皆様には生徒数の確保という課題に加え、コロナ禍による授業や実習など、感染症対策に日々心を砕きながら対応されていることに衷心より敬意を表する。

働き方改革関連法の施行により2024年から医師の時間外労働の上限規制が適用され、現在、それに向けて医療関係職種のタスクシフト・タスクシェアの検討も進められている。限られた医療資源の中で良質かつ適切な医療を効率的に提供するためにも本会認定医療秘書がかりつけ医を支え、地域医療に貢献されることを期待している」。

報 告

- 1 令和3年度会務報告について
- 2 常任委員会について
- 3 日本医師会医療秘書認定試験委員会について

第43回日本医師会医療秘書認定試験について、来年2月5日に各医師会の医療秘書学院で実施。試験科目は従来と同じ。一昨年3月に改訂版が発行された「体の構造と機能」については、今回まで第一版、第二版どちらにも共通する内容で出題する。合格発表は2月24日。

- 4 各学院の現況調査結果について
- 5 医療保険請求事務実技試験委員会について

総会の前にWeb会議で行われた令和3年度医療保険請求事務実技試験委員会では、具体的な試験問題の内容について検討を行い、承認を得た。試験日については、統一することは難しいと判断し、5日間程度の期間で実施する。

- 6 医療保険請求事務実技試験の外部委託について

今年度も株式会社ソラストへ依頼することとなった。昨年度に引き続き、試験問題のレ

ベルや出題ミスなどの発生の状況を見るため、秋田県が個別で契約する。次年度以降の契約については、試験終了後、契約方法なども含め検討いただきたい。

協 議

- 1 令和3年度収支決算について
原案どおり承認された。
- 2 令和4年度事業計画（案）について
原案どおり承認された。
- 3 令和4年度会費の賦課・徴収について
原案どおり承認された。
- 4 令和4年度収支予算（案）について
原案どおり承認された。
- 5 次期当番県の決定について
次期当番県は福井県に決定した。
- 6 その他

監事はこれまで互選で選出していたが、長年監事を務めていた福井県が次年度の当番県となったこともあり、次年度から輪番制へ変更したほうがよいのではないかとの意見がでた。次年度の監事選出については今年度中に書面で協議することとなった。

総 括 日本医師会常任理事 釜 范 敏

現在、医療現場は電子カルテの導入に加え、来年4月からのオンライン資格確認の原則義務化により、最新の情報処理能力が求められており、本会認定医療秘書の即戦力としての活躍がますます期待されるところである。それぞれの医師会においても学校と連携を密にし、更なる活躍の場の拡大にご協力賜うようお願い申し上げる。

次期当番県医師会長挨拶

福井県医師会長 池端 幸彦

来年の定例総会は、10月に開催予定である。

閉 会 秋田県医師会 常任理事 島 田 薫

出席者－山村副会長、池井常任理事、桑山主事、黒野様（宮崎学園短期大学）

300回を迎えた日南在宅ケア研究会

南那珂医師会 理事 き さ ぬ き 木佐貫 あつし 篤

在宅医療推進や地域包括ケアシステムの構築をめざすうえで、医療と介護の連携推進は大きな課題です。南那珂医師会では、介護保険制度が始まる前の平成7年から「在宅ケア」をキーワードに勉強会「日南在宅ケア研究会」を毎月開催してきました。そして令和4年11月8日(火)に記念すべき300回を迎えることができました。今回は宮崎県医師会の皆様に、日南在宅ケア研究会のこれまでの取組みと300回記念大会について報告することを通して、南那珂地区における在宅医療への取組みを紹介します。

1) 日南在宅ケア研究会の設立と活動内容

日南在宅ケア研究会は「日南市の住民によりよい在宅ケアを提供するため、保健・医療・福祉などの関係者が必要な学習・連絡調整および情報交換を行い、日南市の在宅ケアシステムの構築をめざす」ことを目的として設立されました。

発足は松田弘彦先生(松田整形外科医院)を中心に、南那珂医師会が各方面に声かけを行い、勉強会を立ち上げることになったようです。

記念すべき第1回は、平成7年4月11日に開催されました。記録集「日南在宅ケア研究会300回の歩み」(令和4年11月8日配布)によると、南那珂医師会/日南保健所/日南市福祉事務所から7名が参加して「在宅ケア情報交換について、保健・福祉の活動状況について」というテーマで行われていました。会場が割烹だったので、顔合わせを兼ねての食事会も同時に行われたようです。

第2回からは南那珂医師会館を会場として、

毎月第2火曜日19時～20時に開催され毎回10～30名程度の参加者があったようです。研究会内容は参加する事業所が担当制で話題提供や事例検討を行っていました。介護保険が始まる以前でしたので内容は多岐にわたっており、話題提供のテーマでは「民生委員よもやま話」「重複薬の処理」「介護における訪問歯科」「福祉用具マルチ商法」など興味深い内容が多く取り上げられていたようです。

平成12年4月から介護保険制度がスタートしたことをうけて、その前後には介護保険に関わる内容も多く取り上げられました。更に平成18年からは緩和ケア事例発表(7月は県立日南病院、2月は日南市立中部病院が担当)も組み込まれ、年2回在宅緩和に関する学びを深めることになりました。

ちなみに日南市のお隣の串間市でも、少し遅れて「串間在宅ケア研究会」が立ち上がって現在まで継続開催されています。こちらは平成8年11月20日に第1回が開催され、それ以降毎月第4水曜19～20時に開催されています(令和4年11月22日開催が第261回)。どちらも南那珂医師会が運営の中心となっています。

平成12年からは、年の最後となる12月研究会は日南串間合同での開催となり、県内外から講師を招いて特別講演と忘年会を開催する形式となりました。

平成21年からはホテルシーズン日南での開催となり、参加者にとっては年末の楽しみとなりました。

2) 運営リニューアルと会の再活性化

そして平成24年2月14日に200回記念大会を開催することができました。このときには立ち上げに深く関わられた松田弘彦先生と当時の南那珂医師会会長であった山元敏嗣先生が講演をされました。

しかし長年継続開催するなかで、担当制で話題や事例を提示することが多くの事業所に負担となってきた、参加施設や参加者が減少/固定する傾向がみえてきました。地域包括ケアシステム推進が求められるなかで、この研究会は重要な役割を果たしていくはずだという認識の元に、研究会の運営を考える場を設けてはどうか、という提案が会でなされました。それを受けて、平成24年9月に主な団体（南那珂医師会、日南歯科医師会、日南薬剤師会、県立日南病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、日南市役所など、団体名称は当時）の代表からなる日南在宅ケア研究会運営委員会を立ち上げ、担当制を発展させる形で運営委員会での話し合いをふまえて、参加者がより興味を持てるようなトピックスや内容を選定して行う方針に変更しました。



リニューアル後は、これまでの受け身であった講義型に加えて、グループワーク（ワールドカフェ、KJ法など）、体験型ワーク（民間救急

車などの試乗見学、介護ロボットのデモ、ロコモ体操、など）も取り入れ、興味深い内容が行われてきました。

こういった変革により研究会が再活性化して、参加者も50名前後まで増えました。

平成26年9月には医療と介護のIT情報共有をすすめるための意見交換としてグループワーク「在宅医療・介護連携情報共有システムについて～こんなシステムがあったらなあ～」が行われました。この場での討議内容もふまえて平成27年9月に日南市在宅医療・介護連携情報共有システムNet4Uが導入されました。その後もNet4Uに関する話題提供が毎年1回以上取り上げられ、医療と介護の連携を推進するツールとして活用が広がっています。

3) 新型コロナウイルスによる休会

しかし令和2年当初から始まった新型コロナウイルスパンデミックにより、医療や介護の現場で働く人たちが集まっていた研修会開催は困難と考えられ、第295回（令和2年2月4日）を最後に休会となりました。これまで築き上げてきた人と人とのつながりをベースとして活動を広げてきた在宅ケア研究会にとって、そのつながりをどのように継続していくのかという大きな課題がふりかかってきました。幸いWeb会議システムがコロナをきっかけに幅広く活用できることになったことから、日南在宅ケア研究会が再開するまでの間「日南在宅ケア自主勉強会」（Zoom）が県立日南病院患者支援センターを中心に令和3年4月から開催されることになりました。それによりこれまで勉強会に参加していた人のつながりが維持されました。参加者にとってZoomの使い方を学ぶ場となっただけでなく、現地参加が困難だった人たちにも勉強会のネットワークがひろがるなど、新しい収穫もありました。

そして2年4か月の休みを経て、日南在宅ケア研究会は令和4年7月から再開されました。再開最初の第296回（7月12日）は「訪問看護における感染予防対策」をテーマに、日南市立中部病院/はまぼう訪問看護ステーションの2施設から発表がありました。新型コロナウイルス流行下で訪問看護事業所がどのような工夫や対応を行ったのか、具体的な報告が行われました。8・9月の第7波のときは参加者数を絞って継続開催し、そして11月に記念すべき300回大会を迎えることができました。

4) 300回記念大会の概要

300回記念大会では、長年日南在宅ケア研究会に深く関わってこられた3名の方にお話をいただきました。

「私の訪問診療」

山元 敏嗣先生

（山元クリニック院長・元南那珂医師会会長）

訪問診療の事例を交えて、訪問診療を通じての患者さんやご家族の想い、訪問看護師や施設介護士などのケアに感動されたこと、先生ご自身の想いやいろいろな苦労話などお話をしました。最後にこの研究会を立ち上げて一番よかったことは、「顔の見える関係性が作れたこと」、「人と人とのつながりの大切さを実感できたこと」だとまとめられました。



「日南在宅ケア研究会300回の変遷 ～研究会から私が得たもの」

河野久仁子氏（日南市立中部病院）

変遷第1期（平成7年～平成24年）から参加しており、平成9年6月に最初の発表をしたそうです。その後地域包括ケアシステムの考え導入で医療も介護も地域もまろごとケアを考えるようになり、本研究会にてグループワークでの事例検討を行ったことや、年末恒例の合同研修会と忘年会が楽しかったことなどお話しされました。研究会活動を通して、在宅や連携に関わる多くの人たちと顔見知りになり相談ができるようになったのが大きいと話されました。このような勉強会を地域医師会主導でここまで継続している地域はなかなかないことから、医師会の先生方の先見の明で在宅ケア研究会がつくれ、研究会に対する思いや行動力によって今があることへの感謝を述べられました。そして今後も在宅ケア研究会が連携に関わる方々の学びの場となりますようにと切望されました。



「日南在宅ケア研究会に参加して

～ケアマネと医療関係者のつながり」

長渡 史江氏

（日南市南在宅介護支援センター）

介護保険制度について詳細に話していただき、次に介護支援専門員の仕事内容や日南市介護支援専門員連絡会の組織の概要、そして、過

去の日南在宅ケア研究会で日南市介護支援専門員連絡会として発表された内容を振り返られました。ケアマネジャーにとって、この研究会への参加は他職種とのつながりの場となっただけでなく、薬の知識を深めたり口腔ケアを学んだりと、医療の知識を得る貴重な場となってきたことを話されました。

総合討論での「今後の在宅ケア研究会でどういったことをやってみたいか？」との問いには、グループワークをたくさん行って欲しいという意見がありました。理由としては、多職種の方々と顔を合わせ、話もできることからよい関係性が生まれ、それが今後の連携につながると考えられるからとのことでした。更に本市でも介護施設が減るなどこれから介護難民が出てくる可能性があることから、研究会を通じて横の関係性を作って欲しいとの意見が出されました。

参加者からも、在宅医療を行うにあたってお世話になった先生や医療従事者の方への感謝の気持ちや日南在宅ケア研究会で顔の見える関係性をつくれたことに感謝の意が述べられ、盛会裏に終了しました。



5) 今後の展望

300回を迎えた日南在宅ケア研究会のこれまでについて報告しました。研究会を立ち上げこれまで運営に関わってこられた医師会の先輩方

や参加して下さった皆さん、事務局の皆さんのおかげで今があることをあらためて感じます。これから縮小していく地域で地域包括ケアシステムそして地域共生社会を目指していくには、医療や介護の連携がこれまで以上に求められるはずです。そのためのベースとしてのヒューマンネットワーク構築はとても重要な取組みであり、日南/串間在宅ケア研究会の果たす役割はますます大きくなると思います。

400回記念大会が開催できるのは約8年後。そのときにはどのような医療と介護、地域の風景が広がっているのでしょうか。この研究会があってよかったと思われるよう、南那珂医師会を始めとする多くの関係者とともに引き続き活動が続けていきたいと考えています。

日医インターネットニュースから

■例外医療機関にも「簡素な仕組み」を — オン資義務化で・厚労省が方針 —

2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化させるとの政府方針を踏まえ、厚生労働省保険局は10月28日に開いた医療保険部会で、オンライン資格確認義務化の例外医療機関についても、患者の資格情報のみを取得できる「簡素な仕組み」を導入する方針を示した。健診・保健指導実施機関や、柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の施術所でも、同様に導入する。簡素な仕組みでは、患者の医療・健康情報は取得できない扱いとする。導入に向けた詳しいスケジュールは示さなかった。

厚労省は簡素な仕組みについて、現時点のイメージ図を提示。保険局医療介護連携政策課は「事業者が使う専用の読み取りアプリを開発、配布するとともに、事業者のPC／モバイル端末での認証を行うこととし、端末のみで認証を可能にすることを想定している」と説明。「マイナカードを読み込む汎用カードリーダーは、（オン資導入の）医療機関等での顔認証付きカードリーダーとは異なるもので、本人確認した上で、開発予定のウェブサービス（資格確認限定用）にアクセスし、そこからオン資確認等システムに接続し、資格情報を取得する仕組みを想定している」と報告した。

来年4月以降、療養担当規則改正により、医療機関では原則としてオン資確認が義務となる。ただ8月の中医協で、紙レセプト請求が認められている医療機関については、オン資義務化の例外とする方針を了承した。その代わりに「簡素な仕組み」を今回打ち出した格好だ。厚労省は事業者のシステム改修、利用機器の導入支援などを行う方針で、28日発表の経済対策に必要な予算を盛り込む。

厚労省は保険証廃止に向け、訪問診療・訪問看護の居宅における資格確認の仕組みの構築や、マイナカード取得の徹底にも取り組む方針だ。

●「保険証廃止」の課題、指摘の声相次ぐ

政府の保険証廃止の方針を受け、委員からは課題を指摘する声や、厚労省に慎重な対応を求める声が相次いだ。

佐野雅宏委員（健保連副会長）は、医療機関のオン資確認システム導入や、国民のマイナカード取得について「進捗管理を行ってほしい」と要請した。保険証廃止に向けては、マイナカードがない保険加入者が保険診療を受ける際の事務手続きなど、「新たな事務負担が発生する可能性がある」と指摘。「（廃止まで）時間的にも大変厳しく、工程を明確にしてほしい」と求めた。

猪口雄二委員（日医副会長）は「オン資確認は医療DXの基盤であり、しっかり進めていきたい。患者宅での同意を取得する訪問看護、訪問診療等へのオン資拡大については、セキュリティの確保が大事。保険証の廃止に向けては、マイナカードの取得が困難な高齢者等への取得など現実的な方法論を示すべき」だと述べた。

（令和4年11月1日）

■面での「かかりつけ医機能」強化へ — 医師自身が研鑽を・松本会長 —

日本医師会は11月2日、「地域における面としてのかかりつけ医機能～かかりつけ医機能が発揮される制度整備に向けて～（第1報告）」を公表した。

松本吉郎会長は同日の会見で、地域における面としてのかかりつけ医機能を強化するためには、医師自身がしっかりと研鑽を積み、かかりつけ医の機能を高めることが必要だとの見解を示した。また、ある程度の研鑽を積んだ医師を公表する必要性にも言及した。

松本会長は、日医かかりつけ医機能研修制度を充実させていくことにも触れ、「多くのかかりつけ医を目指す方が、研修制度を利用して自ら（の機能）を高めていってほしい」と説明した。

面としてのかかりつけ医機能を発揮させるために、地域での機能分担や連携にしっかり取り組む必要性にも触れた。その上で「やはり医師会に入っていない方には入ってもらって、医師会の中で地域に根差した活動を行ってもらいたい」と呼びかけた。

●登録制、医療のアクセス権を阻害

かかりつけ医を国民に持ってもらうことは、医師と患者の信頼関係を築いて、健康や医療について何でもいつでも相談できるという安心感を国民に持ってもらう観点から、「これからも積極的に進めていくべきだ」と訴えた。

一方で「登録制」は、患者の医療へのアクセス権や医師を選ぶ権利を阻害する提案だと警戒感を表明。「わが国の良い医療の伝統を損なう乱暴な議論ではないかと考えている。このような提案は国民も受け入れられないのではないか」との認識を示した。

●人頭払いは「現実的な提案でない」

人頭払いについても「現在の複雑かつ高度な医療においては、現実的な提案ではない」と指摘。「地域の医療体制が面として患者を支えていくことが求められる中で、この体制を人頭払いで保証することは不可能ではないか」と語った。

財務省などが提言している、かかりつけ医の「制度化」にも言及。国民にかかりつけ医を持つことを義務付けたり、割り当てたりすることには反対する姿勢を示した。「国民にかかりつけ医を選ぶ権利はあるが、義務ではない。もし制度化という言葉がそのようなことを意図しているのであれば、医師会として賛成することはできない」と述べた。

政府が6月に閣議決定した「骨太の方針2022」では、「制度化」ではなく「制度整備」という言葉を用いていると説明し、今回の報告はあくまで「制度整備」を踏まえた内容だと強調した。

(令和4年11月8日)

■「保健・医療提供体制確保計画」改定を — 12月19日までに、厚労省が依頼 —

厚生労働省は11月21日付の事務連絡で、新型コロナウイルスのオミクロン株の特性を踏まえ、今冬の入院体制を中心に保健・医療提供体制を点検・強化するよう都道府県に依頼した。地域の医療関係者らと協議した上で、12月19日までに「保健・医療提供体制確保計画」を改定するよう求めた。事務連絡では、点検・強化を実施する際の考え方を記している。

点検・強化のポイントとしては、入院治療を要する患者が優先的に入院できる体制の引き続きの強化や、通常医療との両立の強化などを挙げた。その上で、▽点検時に参考とする療養者数等▽陽性判明から療養先決定までの対応▽入院等の体制▽医療人材の確保・配置転換を行う仕組み▽自宅療養者等および高齢者施設等における療養者の健康観察・診療体制—などの項目について、今夏の感染拡大時の対応を振り返りながら検討するよう求めた。

入院体制の点検時に参考とする療養者数については、同時流行時に1日に最大でコロナ患者45万人、季節性インフルエンザ患者30万人に上るとの見込みのほか、地域の感染状況を踏まえつつ、想定することとした。

加えて、今夏の確保病床使用率や入院率などの推移、確保病床以外の病床でのコロナ患者の受け入れ実績なども踏まえ、入院治療が必要な患者が優先的に入院できる体制の検討・強化につなげるよう呼びかけた。

事務連絡の題名は、「オミクロン株による流行対応を踏まえた『保健・医療提供体制確保計画』の入院体制を中心とした点検・強化について(依頼)」。(令和4年11月25日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) > メンバーズ > 日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID: 会員 ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字 (半角)

医師国保組合だより

保健事業のご案内

実施期間：令和5年3月末日まで 請求期限：令和5年5月19日まで（必着）

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導 ※無料です

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者）※配偶者は75歳の誕生日前日まで
上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）
※年度中に40歳になる方～74歳の方は、特定健診対象者です。

◆日曜健診について

場所：宮崎市郡医師会病院健診センター（宮崎市大字有田1173番地）

日程：令和5年1月22日・2月19日・3月5日・3月12日

申込方法：①～③いずれかの方法でお申込みください。

- ① スマートフォン、タブレットなどからQRコードにアクセスして申込⇒
- ② 県医師国保組合のWebページから申込
- ③ 県医師国保組合へお電話で申込（TEL 0985-22-6588）



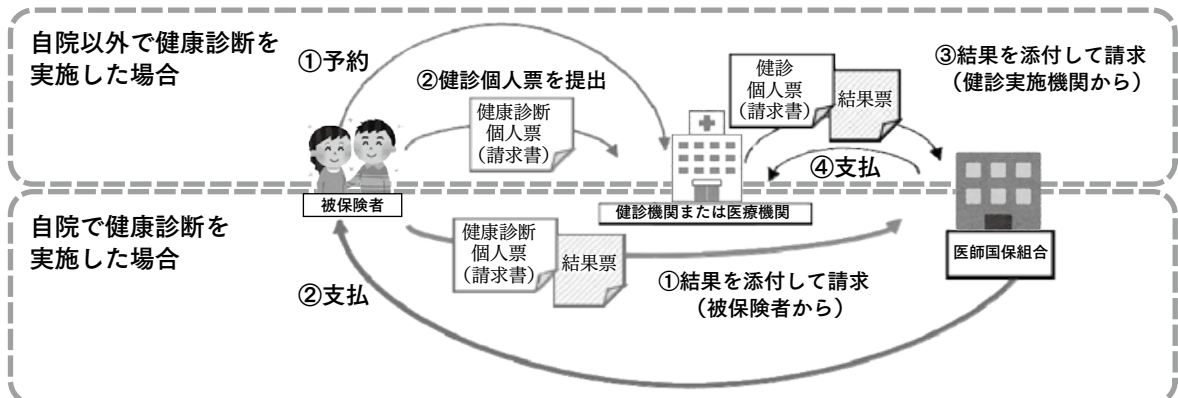
※日曜健診のオプション検査のうち、胃内視鏡検査および低線量ヘリカルCT肺がん検診は、すべての日程で定員に達しました。なお、マンモグラフィ検査は、2月19日のみ若干の空きがございます。

※平日・土曜日の健診のご予約・お問い合わせは健診センターへ直接お電話ください。
（TEL 0985-77-9108）

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。

その際は、健康診断個人票（黄色）の必須検査項目（★印の項目）を必ず実施してください。



特定保健指導**◆対象者**

対象者には、当組合より利用券を送付します。

特定保健指導のご案内が届いた方は対象施設にご予約ください。

2 インフルエンザワクチン接種補助**◆対象者**

被保険者全員並びに高齢組合員

◆補助金額

1人1回2,000円（高齢組合員は1,000円）

3 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合Webサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）
- 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 6) 歯科健康診査（無料）

申請書は、
当組合Webサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保組合からのお知らせ

<医師国保組合へのご加入について>

会員の先生にとって、廉価な保険料で充実した保健事業を提供する医師国保組合への加入をご検討ください。詳細については、当組合までお問合せください。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保組合にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き当組合に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

医師年金

＜認可特定保険業者＞公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

☑ 年金検討チェックリスト

- ☐ 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- ☐ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- ☐ 一生涯受け取れる年金が望ましい
- ☐ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- ☐ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- ☐ 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人

日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時（平日）

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

● 基本：月払	加算：月払
加算年金 (10 万円)	月払保険料 60,000 円
基本年金	月払保険料 12,000 円
支払期間 19 年 2 ヶ月 (230 期)	
合計月払保険料	72,000 円

設定条件をご確認ください。

試算日	令和2年 9月 10日
生年月日	昭和50年 1月 1日
試算日年齢	45 歳
加入申込期間	令和2年 10月 15日
加入予定年月	令和2年 11月
加入時年齢	45 歳 10 ヶ月
加算払込開始年月	令和2年 11月
年金受取開始年月	令和22年 1月
年金受取開始年齢	65 歳
払込保険料累計	16,560,000 円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期間は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることができます。
- ・「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・「受取コース」の選択(81～84)は、受取開始の時に決まらなければなりません。
- ・受取開始年齢は、75歳まで延ばせます。
- ・「受取年金月額」は概算です。現在は年率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

● 81コース	
加算年金	保証期間15年 64,600 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
受取月額	77,500 円
15年受取総額	13,950,000 円

● 82コース	
加算年金	5年確定型 276,500 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
受取月額	289,400 円
15年受取総額	18,912,000 円

● 83コース	
加算年金	10年確定型 143,400 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
受取月額	156,300 円
15年受取総額	19,530,000 円

● 84コース	
加算年金	15年確定型 99,100 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
受取月額	112,000 円
15年受取総額	20,160,000 円

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118



理事会日誌

令和4年10月4日(火) 第12回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会の委員推薦について
→本県において特定行為に係る看護師の研修制度推進に向けて必要な事項を検討するために設置されている検討会の委員の推薦依頼があり、医療関係者対策担当の池井常任理事と赤須常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①R5.1/28(土)「特定非営利活動法人日本医師事務作業補助者協会 第18回宮崎地方会」名義後援申請について
→医師事務作業補助者のスキルアップのために「医師事務が知っておきたい神経内科」及び「コスト意識を持った医師事務の育成。診療報酬を理解しよう」をテーマに開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 11/15(火) 令和4年度第2回都道府県医師会会長会議の開催について

河野会長が出席することが承認された。
また、今回のテーマである「医療従事者の

安全を確保するための対策について」に関し質問があれば、事務局に届け出、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

4. 11/22(火) (県医) 第2回各都市医師会長協議会の開催について

開催することと、各都市医師会に対し質問および提案事項を照会することが承認された。また、役員から議題があれば事務局に提出することとなった。

5. R5.2/4(土) (大分) 九州医師会連合会令和4年度第2回各種協議会の開催種目について

希望する開催種目(協議内容)があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

6. 業務委託について

- ①令和4年度高次脳機能障がい講演会業務の委託契約について
→医療機関の高次脳機能障がいに関する診断技術の向上を目的に講演会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。
- ②令和4年度県主治医研修業務の委託契約について
→要介護認定の重要な審査資料である主治医意見書の適切な記載方法等の研修を行う事業で、契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 9月末日現在の会員数について
2. 10/1(土) (大分) 九医連常任委員会について
3. 10/3(月) (県防災庁舎) 県がん対策審議会について
4. 10/1(土) (大分) 九医連各種協議会について
5. 9/30(金) (県防災庁舎) 県個人情報保護審議会について
6. 10/3(月) (県医) 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会について

7. 9/29(木) (JA-AZM) 社会保険医療担当者の
集団的個別指導について

8. 9/28(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会
について

9. 9/29(木) (宮大医学部) 宮大医学部医の倫理
委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/22(土) (後援会事務所) 事務所開き行事の
ご案内について

河野委員長の出席が承認された。

2. 11/6(日) (MRT-micc) 参議院議員 長峯誠
政経セミナーのご案内

参議院自由民主党世耕弘成幹事長を招き
開催されるセミナーで、協力することが承
認された。

(報告事項)

1. 9/30(金) (宮観ホテル) 三師会懇談会について

令和4年10月11日(火) 第9回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する公衆衛生委員会に
ついて、峰松理事への委嘱の依頼があり承
認された。

2. 10/25(火) (県医) 県福祉保健部・病院局と
県医師会との意見交換会について

当日の進行方法や役割分担が確認され
た。また、県への要望書(案)について修
正等ある場合は10月14日までに事務局を
通して会長に申し出ることとなった。

3. 12/3(土) 令和4年度家族計画・母体保護
法指導者講習会の開催について

「心の問題を考えるーその後のサポート
に繋げるために」をテーマに開催される講
習会で、嶋本常任理事と上山理事が出席す

ることが承認された。また県産婦人科医会
からも出席することが報告された。

4. 業務委託について

①令和4年度HTLV-1(ヒトT細胞白血病
ウイルス1型)母子感染対策事業に係る
業務の委託契約について

→HTLV-1の母子感染を減らすことを目
的に、HTLV-1キャリアの実態調査や
研修会等を実施する事業で、契約を締
結することが承認された。

5. 令和4年度医療機関税制セミナーの開催に ついて

医療機関経営に係る税制・税務の理解を
深めるためのセミナーについて、日本医師
会より本県での開催について依頼があり、
日本医師会、TKC全国会、県医師会、県
医師協同組合の4者共催で例年どおり開催
することが承認された。

6. その他

①九州医師会連合会第404回常任委員会、第
124回臨時委員総会並びに九州医師会連
合会委員・九州各県医師会役員合同協議
会の開催について

→10月7日に役員の出欠について照会を
しているので10月13日までに回答を
するよう依頼があった。常任委員会の
提案事項については、議題があれば事
務局に提出をすることとなった。

(報告事項)

1. 10/11(火) (県医) 都道府県医師会新型コロナ
ウイルス感染症担当理事連絡協議会について

2. 10/9(日) (ニューウェルシティ宮崎) 宮崎か
ら医師をめざそう! 応援フォーラムについて

3. 10/6(木) (日医) 日医医療秘書認定試験委員
会について

4. 10/6(木) (県医) 男女共同参画委員会について

5. 10/8(土) (県医) 産業医研修会(実地)につ
いて

医師連盟関係

(議決事項)

1. 11/12(土) (宮観ホテル) 選挙対策委員会の開催について

河野委員長が公務のため欠席することが承認された。

令和4年10月25日(火) 第10回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. R5.1/13(金) 医療安全対策 (WEB) セミナーの開催について

本セミナーは通常は県医師協同組合が企画をし開催しているが、今回は県医師会が企画し医療事故調査制度をテーマに開催することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会の委員への就任及び設立総会の開催について
→来年4月に本県で開催されるG7の農業大臣会合に県民・関係団体も一緒になって支援をするために設立される協議会で、委員として河野会長が就任することが承認された。

②県公害健康被害認定審査会委員の推薦について

→公害による健康被害の認定や障害程度の決定等を行う審査会で、委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き峰松理事を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①「令和4年度女性の健康週間セミナー」

への名義後援について

→宮崎県における女性の健康向上に寄与することを目的に開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認さ

れた。

4. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する委員会について、地域医療対策委員会に山村副会長、地域包括ケア推進委員会に石川常任理事が就任することが承認された。

5. 11/25(金)・26(土) (大分市) 九州医師会連合会第404回常任委員会、第124回臨時委員総会並びに九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会の開催について

常任委員会について、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

6. 11・12月の行事予定について

(報告事項)

1. 10/12(水) (シーガイア) 第37回日本整形外科学会基礎学術集会晩餐会について

2. 10/18(火) (県医) 日医理事会他について

3. 10/19(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について

4. 10/24(月) (MRTmicc) G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会設立総会について

5. 10/12(水) 日医定款・諸規程検討委員会について

6. 10/25(火) (メディキット県民文化センター) みやざき愛の献血運動推進県民大会について

7. 10/15(土) (県電ホール) オンライン資格確認導入に関する顔認証付きカードリーダーデモ説明会について

8. 10/17(月)・10/24(月) (県医) 広報委員会について

9. 10/19(水) (県医) 都道府県医師会医師会組織強化担当役員連絡協議会について

10. 10/13(木) 日医勤務医委員会について

11. 10/14(金) (県医) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

12. 10/20(木) (県防災庁舎) 県地域医療構想調整

- | | |
|--|--|
| <p>会議について</p> <p>13. 10/22(土) (シーガイア) 病院部会・医療法人部会合同研修会について</p> <p>14. 10/17(月) (県医) 在宅医療研修会企画小委員会について</p> <p>15. 10/24(月) (県医) 医療従事者向け認知症対応力向上研修会について</p> <p>16. 10/18(火) (県医) 県との妊婦健診等に関する協議会について</p> | <p>17. 10/15(土) (愛知) 全国医師会勤務医部会連絡協議会について</p> <p>18. 10/15(土) (県医) ICLS指導者養成ワークショップについて</p> <p>19. 10/16(日) (県医) ACLS研修会について
医師連盟関係
(報告事項)</p> <p>1. 10/22(土) (河野しゅんじ後援会事務所) 河野しゅんじ後援会事務所開きについて</p> |
|--|--|

11月のベストセラー（宮崎県）

集計：2022年11月1日～11月24日

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1 変な絵 | 雨 穴 | 双 葉 社 |
| 2 小説すずめの戸締まり | 新 海 誠 | KADOKAWA文庫 |
| 3 運動脳 | アンデシュ・ハンセン | サンマーク出版 |
| 4 20代で得た知見 | F | KADOKAWA |
| 5 ある男 | 平 野 啓 一 郎 | 文 春 文 庫 |
| 6 負けない人生 | 古 川 智 映 子 | 潮 出 版 社 |
| 7 変な家 | 雨 穴 | 双 葉 社 |
| 8 22世紀の民主主義 | 成 田 悠 輔 | S B 新 書 |
| 9 人は話し方が9割 | 永 松 茂 久 | す ば る 舎 |
| 10 バカと無知 | 橘 玲 | 新 潮 新 書 |

県 医 の 動 き

(11月)

1	県警察本部と県医師会との意見交換会（会長他） 第13回常任理事協議会（会長他）
3	県医親善ゴルフ大会
4	認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ 研修会（Web会議）（石川常任理事）
5	全国有床診療所連絡協議会役員会（Web会議） （会長） 全国有床診療所連絡協議会総会・講演会（Web 会議）（会長他） （福岡）九州学校検診協議会専門委員会 （高木常任理事） 県整形外科医会研修会 （東京）全国医師協同組合連合会通常総会 （吉田副理事長） （福岡）九州各県医師会学校保健担当理事者会 （高木常任理事）
6	（日南市）県総合防災訓練（田畑理事） 全国有床診療所連絡協議会総会・講演会（Web 会議）（佐々木理事）
7	県自殺対策推進協議会（Web会議） （吉田常任理事） 県認知症疾患医療センター合同会議（Web会議） （石川常任理事） 健康教育委員会（Web会議）（会長他）
9	（日医）日医有床診療所委員会（会長） 県訪問看護推進協議会（池井常任理事）
10	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本常任理事他）
11	アイバンク公益法人定期立入検査 日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事）
12	（岩手）全国学校保健・学校医大会（会長他） 九州各県内科医会連絡協議会他（Web会議） （玉置理事） 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大 腸がん検診研修会）（Web会議）（石川常任理事） （都城市）都城看護専門学校創立70周年記念式 典（山村副会長）
13	（福岡）eレジフェア（Web）
14	広報委員会（荒木常任理事他） 医学賞選考委員会（小牧副会長他）
15	日医監事会（Web会議）（会長） 日医役員勉強会（Web会議）（会長） 日医理事打合会（Web会議）（会長）

15	日医理事会（Web会議）（会長） 都道府県医師会長会議（Web会議）（会長） 県・市町村との妊婦健診等に関する協議会（Web 会議）（嶋本常任理事他） 参議院議員自見はなこ政策セミナー（Web会議） （河野委員長）
16	日医医療経営検討委員会（Web会議） （吉田常任理事）
17	医協会計監査（河野理事長他） 県産婦人科医会働き方改革委員会
18	介護保険委員会（会長他）
19	県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研 修会（山村副会長他） 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州 ブロック会議（Web会議）（荒木常任理事他）
20	かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修 （高木常任理事） 世界糖尿病デー in 宮崎2022県民公開講座
21	宮大医学部附属病院医師研修管理委員会 （金丸常任理事） 広報委員会（荒木常任理事他）
22	第11回全理事協議会（会長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
24	社会保険医療担当者の個別指導（玉置理事）
25	（大分）九医連常任委員会（会長） （大分）九医連臨時委員総会（会長他）
26	（大分）九医連委員・九州各県役員合同協議会 （会長他） （大分）九州医師会総会・医学会（会長他） 宮崎大学医学部附属病院研修ローテート等説 明会（石川常任理事）
27	（大分）九医学分科会・記念行事 アイバンクサポーター講習会
28	医師国保組合理事会（秦理事長他）
29	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 医協理事会（河野理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（Web会議） （河野理事長他） 第12回全理事協議会（Web会議）（会長他）
30	宮大経営協議会・学長選考・監察会議（会長） 労災診療指導委員会（赤須常任理事他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和4年11月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 13人

1) 男性医師求職登録数 9人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	6	4	2
精神科	1	1	0
老健	1	0	1
検診	1	0	1

2) 女性医師求職登録数 4人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	3	0	3
検診	1	0	1

2. 斡旋成立件数 88人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和4年度	3	0	3
平成16年度から累計	64	24	88

3. 求人登録 87件 308人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	83	68	15	消化器外科	3	2	1
外科	26	21	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	31	24	7	健診	3	2	1
精神科	9	8	1	泌尿器科	5	3	2
脳神経外科	10	6	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	14	12	2	皮膚科	4	2	2
麻酔科	12	9	3	婦人科	2	2	0
眼科	9	7	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	9	8	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	0	0	0
呼吸器科	2	2	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診療科目不問	3	3	0
脳神経内科	7	5	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	5	5	0	その他	5	5	0
救命救急科	9	9	0	合計	308	247	61

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻 (いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放 (いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖尿内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼,皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医)文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
230218	医)養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和4年11月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台) 所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台) 所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地:1,260.55㎡ (381.98坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり(22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者:宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台) 所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台) 所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡
	③ 宮崎市柳丸町32 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階部分の約半分のスペース:213.68㎡ (64.75坪) (1階は老人ホームと併設, 2・3階は老人ホーム) ※駐車場あり(14台) 所有者:宮崎市郡医師会員 野辺医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年11月29日

12			月		
1	木	19:00 県医中間監事監査 19:00 県新型コロナウイルス感染症対策協議会	14	水	13:00 日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議) 16:00 支払基金審査運営協議会 16:00 日医定款・諸規程検討委員会 19:00 広報委員会 19:00 県特定行為に係る看護師の研修制度推進検討会
2	金	18:00 経済危機突破総決起大会			
3	土	9:00 (都城市) 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 14:30 産業医研修会 (TV会議)	15	木	15:00 (日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 17:00 県医療審議会
4	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会			
5	月		16	金	15:00 日医未来医師会ビジョン委員会 17:00 県地域医療対策協議会 19:00 広報委員会
6	火	13:00 県健康長寿社会づくり推進会議 14:00 県保険者協議会 19:00 第14回常任理事協議会	17	土	14:00 かかりつけ医認知症対応力向上研修会
7	水	15:30 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 19:00 外国人患者対応に関する研修会 (Web会議)	18	日	10:00 河野しゅんじ候補選対会議
8	木	8:40 河野しゅんじ候補必勝祈願祭・出陣式 9:45 社会保険医療担当者の特定共同指導 14:00 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 (Web会議) 15:00 性暴力被害者支援に係る意見交換会 19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	19	月	17:00 (小林市) 西諸地域医療構想調整会議 19:00 自殺対策うつ病研修会 (Web会議)
			20	火	10:00 日医監事会 (Web会議) 11:00 日医役員勉強会 (Web会議) 13:00 日医理事打合せ (Web会議) 14:00 日医理事会 (Web会議)
9	金	14:00 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会議) 14:00 社会保険医療担当者の特定共同指導 18:00 指導医のための教育ワークショップ 打合せ会 19:00 労災部会自賠委員会 (Web会議) 19:45 損害保険医療協議会 (Web会議)	21	水	15:00 全国学校保健・安全研究大会第1回準備委員会 19:00 県保健医療福祉調整本部関係者会議
			22	木	19:00 医師会立看護学校担当理事連絡協議会 (Web会議) 19:00 県歯科医師会医療と介護における連絡調整会議
10	土	9:00 指導医のための教育ワークショップ 13:25 指導医のための教育ワークショップ 記念撮影 15:00 県産婦人科医会性教育シンポジウム 17:00 (福岡) 自見はなこ社会保障政策懇話会 18:30 (福岡) 吉田学前厚生労働事務次官との意見交換会 19:00 宮大医学部附属病院救命救急センター開所10周年記念祝賀会	23	金	16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 医師国保組合理事会
			24	土	19:00 河野しゅんじ候補帰陣式
11	日	8:30 指導医のための教育ワークショップ	25	日	(県知事選挙投票日) 20:00 河野しゅんじ候補開票速報会
12	月	15:30 日医公衆衛生委員会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議)	26	月	
			27	火	19:00 第14回全理事協議会 (Web会議)
13	火	18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第13回全理事協議会	28	水	15:00 労災診療指導委員会
			29	木	(年末休業)
			30	金	(年末休業)
			31	土	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年11月29日

1			月		
1	日	(年始休業)	19	木	18:30 病院部会・医療法人部会合同理事会
2	月	(年始休業)	20	金	19:00 県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修会(Web会議)
3	火	(年始休業)			
4	水	13:00 新年賀詞交歓会	21	土	13:30 県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向け研修会(大分)九州ブロック災害医療研修会(大分)九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会
5	木				
6	金	15:00 九州各県アイバンク連絡協議会			
7	土	19:00 三師会合同新春懇談会	22	日	9:00 (大分)九州ブロック災害医療研修会 9:00 かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修会
8	日				
9	月				
10	火	19:00 第15回常任理事協議会	23	月	19:00 広報委員会 19:00 県感染症危機管理研修会(Web会議)
11	水	16:00 支払基金審査運営協議会			
12	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会(Web会議) 19:00 子ども救急医療電話相談に関する意見交換会(Web会議)	24	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第15回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会
13	金	19:00 医療安全対策(Web)セミナー(Web会議)			
14	土				
15	日	9:00 人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会	25	水	13:30 宮大経営協議会 15:00 労災診療指導委員会 19:00 県歯科医師会地域医療支援病院等における医科歯科連携推進事業「医療連携会議」
16	月	19:00 広報委員会			
17	火	10:30 (日医)日医監事会 12:00 (日医)日医理事打合せ 12:30 (日医)日医理事会 14:20 (日医)都道府県医師会長会議 16:30 (日医)日医連執行委員会 17:30 (日医)都道府県医師会長協議会・日医連執行委員会合同新年会	26	木	14:30 九州各県学校保健会長及び学校保健担当者連絡会(Web会議)
			27	金	13:00 日医財務委員会(Web会議) 19:00 県外科医会理事会
18	水	13:00 日医地域医療対策委員会(Web会議) 13:30 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 19:00 臨床検査精度管理調査実行委員会(Web会議) 19:00 高次脳機能障がい講演会(Web会議)	28	土	15:00 県産婦人科医会冬期総会・講演会(Web会議)
			29	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
			30	月	19:00 日医認定産業医制度関係小委員会(Web会議)
			31	火	19:00 第16回全理事協議会(Web会議)

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 12月1日(木) 19:00～20:30 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	貧血診療のピットフォール 大分県立病院 血液内科 部長 大塚 英一	19 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ブリストル・マイヤーズスクイブ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	IMiDsを用いた治療：百花繚乱の光景 ～腫瘍免疫の矛と盾～ 関西医科大学 内科学第一講座 主任教授 伊藤 量基	1 (1.0)	
宮崎県内科医会学術講演会 (Web講習会) 12月1日(木) 19:00～20:00 MRTmicc ※受講は現地またはWeb	高齢保存期CKD患者の身体・認知機能を考える 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 主任教授 柴垣 有吾	73 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※協和キリン(株) ☎0985-22-8801
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 12月2日(金) 19:00～20:00 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	悪の連関 高血圧性心肥大・心不全と心房細動を絶ち切る！ ～ESES LVH試験からみたエサキセレノンへの期待～ 熊本大学病院 循環器内科 講師 山本 英一郎	74 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和4年度宮崎県 依存症治療拠点機 関事業医療従事者 向け研修会 「初めて触れてみ る, アディクション 医療」 (Web講習会) 12月3日(土) 13:30～17:00 大悟病院 ※受講はWebのみ	依存症についての理解を深める～その治療と回復支援～ 大悟病院 医師 大塚 和之	5 (1.5)	◇主催 宮崎県依存症治療拠 点機関・依存症専門 医療機関 ※大悟病院 ☎0986-52-5800
	回復の支援～大悟病院の回復プログラム～ 大悟病院 看護師長 谷口 宜昭	11 (1.0)	
宮崎市郡医師会産 業医研修会 12月3日(土) 14:15～17:20 宮崎市郡医師会館	医療・介護現場における快適職場作り ～盲点・視点・改善方法～ 串間市民病院 院長 江藤 敏治	4 (1.0) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	発達障がい者の職場環境とナチュラルサポート 宮崎県中央発達障害者支援センター 所長 水野 敦之	13 (1.0) 69 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 12月3日(土) 14:30～18:30 県医師会館	産業医の注意すべき中毒 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター センター長 鈴木 斎王 基礎後期・生涯研修の専門研修：2単位	11 (1.0) 17 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	化学物質ばく露の実態と対策 ～溶接ヒューム調査の結果から考える～ 産業医科大学医学部 衛生学 教授 辻 真弓 基礎後期・生涯研修の専門研修：2単位	11 (1.0) 17 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第87回宮崎県精神科医会懇話会 (Web講習会) 12月3日(土) 17:00～18:00 オリエンタルホテル福岡博多ステーション4F ※受講はWebのみ	強迫関連症の理解と治療 ～強迫症・ためこみ症を中心に～ 九州大学医学研究院 精神病態医学教授 中尾 智博	69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 大塚製薬(株)
宮崎県医師会東洋医会学術講演会 (Web講習会) 12月3日(土) 17:30～19:00 KITEN ※受講は現地またはWeb	冷えの漢方治療～common diseaseに活かす～ 飯塚病院東洋医学センター 漢方診療科 診療部長 吉永 亮	83 (1.5)	◇主催 宮崎県医師会東洋医会 ◇共催 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663
宮崎県医師会産業医研修会 12月5日(月) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 田中 伸明 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 12月7日(水) 19:00～21:00 県医師会館	産業医が知っておきたい難病支援と企業における障害者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 12月7日(水) 19:00～20:40 ホテルベルフォート日向 ※受講は現地またはWeb	胃瘻(PEG)の基礎知識～地域連携を含めた考察～ 宮崎県済生会日向病院 内科部長 前田 啓一	12 (1.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市・東臼杵郡薬剤師会 (株)大塚製薬工場
宮崎県医師会産業医研修会 12月15日(木) 19:00～21:00 県医師会館	労働環境におけるPTSD様症状 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 精神科 講師 船橋 英樹 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 5 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第14回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 (Web講習会) 12月15日(木) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地またはWeb	新型コロナウイルス感染症診療 当院における感染予防策 患者の入院を検討する因子 ～第5波から第7波の特徴～ 宮崎東病院 院長 伊井 俊彦	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域 包括ケアセンター ☎0985-77-9106
IBD Expert Forum in 宮崎 (Web講習会) 12月16日(金) 19:00～20:10 MRTmicc ※受講は現地またはWeb	小児IBD診療のUp to Date 国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部消化器科 診療部長 新井 勝大	72 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※アッヴィ合同会社 ☎070-3288-2239
	成人IBD診療のUp to Date 兵庫医科大学 消化器内科学講座 准教授 渡辺 憲治	54 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第200回宮崎県眼科医会講習会 12月17日(土) 16:00～18:35 KITEN	ここがポイント！緑内障診療ガイドライン第5版 グレース眼科クリニック 院長 内藤 知子	36 (1.0)	◇主催 宮崎県眼科学医会 ◇共催 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015
	最近の加齢黄斑変性診療 ～こんな時、どうする？ 加齢黄斑変性～ 福島県立医科大学 眼科学講座 教授 石龍 鉄樹	36 (1.0)	
令和4年度自殺対策うつ病研修会 (Web講習会) 12月19日(月) 19:00～21:00 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	生きる意欲の喪失を防ぐひきこもり支援 宮崎大学教育学部 教育臨床心理学 教授 境 泉洋	4 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	青年期における自殺について ～大学生がなぜ死を選ぶのか～ 九州大学 キャンパスライフ・健康支援センター 総合相談支援部門 教授 松尾 寿栄	69 (0.5) 70 (0.5)	
宮崎市郡外科医会 冬期講演会 (Web講習会) 12月19日(月) 19:00～20:00 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地またはWeb	産婦人科領域における内視鏡手術，ロボット支援下手術 宮崎大学医学部附属病院 産婦人科 主任教授 桂木 真司	71 (1.0)	◇主催 宮崎市郡外科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎県医師会産業 医研修会 12月20日(火) 19:00～20:00 串間市総合保健福祉センター	産業医が知っておきたい難病支援と企業における障害者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		3 (0.5)	
		6 (0.5) 9 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 (Web講習会) 12月20日(火) 19:00～20:00 第一三共宮崎営業所 ※受講はWebのみ	抗血栓療法を再考する～血栓リスクか出血リスクか?～ 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一	42 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡内科医会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
第85回宮崎整形外科懇話会 12月24日(土) 17:30～18:30 県医師会館	コンピュータを活用した変形性股関節症の診断と治療 愛媛大学医学系研究科 整形外科学 教授 高尾 正樹	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会 1月13日(金) 14:00～16:00 県医師会館	石綿(アスベスト)関連疾患診断技術研修会(専門研修) 「石綿関連疾患胸部画像診断の読影実習」 長崎大学 医師薬学総合研究科 臨床腫瘍学分野 教授 芦澤 和人 生涯研修の実地研修: 2単位	9 (0.5) 45 (0.5) 46 (0.5) 79 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
【8/5延期分】延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 1月13日(金) 19:00～20:00 延岡コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	肥満糖尿病における摂食と運動, 薬物治療の新たな理解 宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター 特別教授 大阪大学 蛋白質研究所 特任教授 中里 雅光	76 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 大正製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第2回宮崎肝硬変セミナー (Web講習会) 1月20日(金) 18:45～20:40 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	肝硬変のトータルマネジメント～肝性脳症を中心に～ 岐阜大学医学研究科消化器内科学 教授 清水 雅仁	32 (1.0)	◇主催 宮崎肝硬変セミナー ◇共催 ※あすか製薬(株) ☎096-322-0771
	----- 当院における肝性脳症の診断・治療 ～改訂ガイドラインを踏まえた治療戦略～ 宮崎大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野 准教授 永田 賢治 他	19 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 1月24日(火) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支援センター	この一年間(令和4年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 2月2日(木) 19:00～21:00 県医師会館	この一年間(令和4年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 2月3日(金) 19:00～21:00 県医師会館	精神科医から見たメンタルヘルス連携の在り方(Ⅱ) 産業保健相談員 西都病院 医師 植田 勇人 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



コロナ罹患後症状に対する治療（私案）

ちぐさ東洋クリニック ^{かわ}川 ^{ごえ}越 ^{ひろ}宏 ^{ふみ}文

新型コロナウイルス感染症との戦いはいつ終わるのでしょうか。その戦いの中で命を落とされた方とご家族に心よりの哀悼の意を表しますとともに、臨床現場でリスクを負い治療にあたられた多くの医療関係者の皆様、保健所や検査センターの皆様、ご家族に深謝申し上げます。今回、宮崎県医師会広報委員会からこの病態に対する漢方治療のエッセンスをまとめて欲しいというお話をいただき、県民の皆様のお役に立てるのであればと喜んでお受けさせていただきました。漢方薬治療だけでなく、この病態に対する治療態度なども、女子医大時代にお手伝いした厚生省慢性疲労症候群研究班での経験を踏まえてまとめさせていただきます。

コロナ後遺症 → コロナ罹患後症状

まずはじめに、この病態の呼称ですが「コロナ罹患後症状」もしくは「ロングコビット」と統一されそうです。「コロナ後遺症」は今後使われない方向のようです。一部自治体のホームページでも「コロナ後遺症」と表記され、メディアでもこの呼称が使われています。できる限り早く訂正していただきたいです。

WHOの定義によれば、この病態の定義は「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2か月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの」とされており、2か月以内に残存した症状が消失する可能性があり、その前の段階で治療開始すべきと考えます。コロナ罹患後症状は全身倦怠

感、呼吸困難、頭痛、頭冒感、思考停止、睡眠障害、嗅覚味覚障害など、多彩な症候の組み合わせです。診断に結びつくような検査所見が得られない場合「問題なし」「気のせい」とされ、治療にすら至らず、困って当院を受診される方もおられます。これは慢性疲労症候群患者でも同様の問題でした。そしていまだに確立した治療フロー也没有ありません。その原因として、この病態は多彩な身体病変だけでなく、精神症状や社会的経済的問題（不登校・出勤困難例）も引き起こす場合もあるからです。そのため、心身相関を理解した心理的・社会医学的アプローチできる医師で管理されることが理想的です。多くの大学での臓器別・領域別縦割りに再編された医療システムでは対応困難です。類似の病態はますます増えると思われますので、総合診療的な全科対応可能なプライマリーケア医の養成は急務です。

コロナ罹患後症状に対する漢方薬の使い分け

漢方薬は漢方医学という医療哲学の上に存在する医療システムの処方です。漢方的なシステムに基づいて処方運用すべきと考えます。漢方メーカーの手帳・下敷き頼りの漢方薬選択が増えることで使われる処方が偏り、天然資源としての生薬が不足したり出荷制限につながっているようです。そのため、ここではその集中を防ぐため、数種類の処方も記載して、処方のヒント（口訣）をつけました。漢方薬は1種類の処方を最長で2週間程度としていただきたいと思います。

また、括弧内のヒントは健康保険で認められている適応病名ではありません。保険診療の際には健康保険のルールに則って対応してください。

コロナ罹患後症状の症候別の漢方薬の使い分けのヒント

咳嗽・息苦しさ

麦門冬湯（空咳）、麻杏甘石湯・五虎湯（痰の切れにくい咳）

竹筴温胆湯（夜の咳）、滋陰降火湯（口の渇き）、味麦益気湯（咳＋疲労感）

疲労感

補中益気湯（疲労感）、小建中湯（腹部膨満感）、六君子湯（食欲不振）

加味帰脾湯（うつ状態）、十全大補湯（皮膚乾燥など）、人参養栄湯（フレイル状態）

ブレインフォグ

半夏白朮天麻湯（頭冒感）、釣藤散（記憶力低下・頭痛）、七物降下湯（血圧上昇）

抑肝散加陳皮半夏（不眠・いらいら）、香蘇散（くよくよ）、五苓散（むくみ・頭痛）

※なお、下線付きは第1選択薬になり得る処方です。追試よろしくお願いします。

コロナ罹患後症状の漢方治療に際しての注意・お願い

- 血圧・体重測定は毎回（甘草を含む処方での偽アルドステロン症）
- 胸部聴診と酸素飽和度測定は毎回（間質性肺炎）
- 血液生化学検査は定期的（肝機能・電解質異常）
- 便潜血は年数回（山梔子を含む処方）
- 処方日数は最長2週間

漢方薬以外の治療法

漢方薬以外の治療法も報告されています。こ

こではその一部を列記します。

- Bスポット療法（上咽頭刺激療法）・鼻うがい（耳鼻咽喉科）
- 鍼灸治療・温熱治療（鍼灸師）
- サプリメント（亜鉛・BCAA）・栄養療法・ビタミンDなど
- 呼吸リハ・酸素カプセル（理学療法）
- 抗うつ剤・認知行動療法（精神科・心療内科）

コロナ罹患後症状の診療時の心構え、そして…

コロナに罹患された方には一定の隔離期間が義務づけられています。これは感染力が低下するまでの期間であり、その後もいくつかの症状は隔離期間後も継続する方がおられます。この隔離期間の精神的ストレスを強く受ける方は元々の心身症が表面化する危険性もあると思われます。最も気をつけていただきたいのは自死のリスクについてです。上手に問診をとったり、心理テストを行って希死念慮の有無は常に注意を注ぐ必要があります。

学生さんでは登校困難、社会人の場合は就労困難例がありますので、その際は適切な対応が求められます。

コロナ罹患後症状は慢性疲労症候群と類似しているとされています。また、線維筋痛症、低髄圧症候群なども検査データでは異常値が指摘されないことを特徴としており、「血液画像検査で異常なし＝病気ではない」という式はすでに崩れています。そのような各科横断的診療可能な医師のニーズは今後更に増えていくことでしょう。東洋医学会はそのようなニーズに応えられる医師の卒後教育に務めてまいります。

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 別冊 罹患後症状マネジメント（第2.0版）」が本年10月より、厚生労働省ホームページに公開されておりますので、ご参考ください。
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>)

宮大医学部学生のページ

研究室配属について
～感覚運動医学講座眼科学分野～宮崎大学医学部 医学科3年 ^{かた}片 ^{おか}岡 ^{りん}凜

宮崎大学医学部医学科のカリキュラムの1つとして、研究室配属実習があります。この研究室配属実習では、医学科の3年生全員が、全42の研究室から希望する分野を選択し、それぞれ配属された研究室で実際に研究に携わってみたい、臨床の現場を見学したりします。今年は、10月11日から11月11日の1か月間行われました。研究室には、病理学や医学生物学などの基礎科目分野と産婦人科や放射線科などの臨床科目分野があり、私は、臨床科目である眼科学分野で研究の勉強をさせていただきました。

私は幼いころから目が悪く、メガネやコンタクトレンズの作成などでよく眼科病院にお世話になっていました。また、父が眼科医ということもあり、眼科という分野を身近なものに感じていました。このような理由から、今回、眼科学分野を選択しました。

主な実習内容は、眼感染疾患の起因微生物や、私たち健常者の角結膜に常在する菌をPCR検査法を用いて同定することでした。PCR検査法は、2年生のときに医科生化学の実習で経験

していましたが、正直そのころは、本質をきちんと理解できていなかったと思います。今回、PCR検査法について学ぶにあたり、担当してくださった先生による詳細な説明と、すべての作業を自分で行うという経験をしたことで、PCRとはそもそも何なのか、PCRの工程ひとつひとつの意義は何なのかをようやく理解することができました。また今回私は、感染性ぶどう膜炎の起因微生物を同定したのですが、感染性ぶどう膜炎の原因は多種多様で、原因は違くとも、所見が似ている疾患が多数あります。そのため、PCR検査法で起因微生物を同定する前に所見から判断し疑われた疾患と、同定後に診断された疾患が異なることがあります。実際、実習期間中に私もこの経験をしました。疾患が異なれば治療方針・治療効果も変わってくるので、PCR検査法で起因微生物を同定することがいかに重要なことなのかを痛感しました。

眼感染疾患の起因微生物の同定の他に、私や他の実習生などの健常者が普段使用しているソフトコンタクトレンズから、角結膜に存在して

いる菌をPCR検査法で同定することもしました。常在菌の特定には、基本的に涙液や角膜擦過物を検体として使用するため、ソフトコンタクトレンズから常在菌を同定することは過去に報告がありませんでした。今後実現されるかもしれない新たな研究の1つに携われたことは、とても名誉あることであり、誇りに思います。

また、PCRなどの研究以外にも、手術現場や眼科の外来の見学、豚の眼を使った白内障手術の体験もさせていただきました。中でも、白内障手術の体験はとても貴重な経験でした。眼は、他の臓器と比べてかなり小さいので、手術は顕微鏡を使って行います。顕微鏡越しの作業は不自由で、ほんのちょっとの手の動きが指先に大きく影響してしまい、かなり苦戦しました。先生方の、とても繊細で洗練された技術を間近で見学させてもらった時は、あまりの凄さに魅了され、見入ってしまいました。自分が、

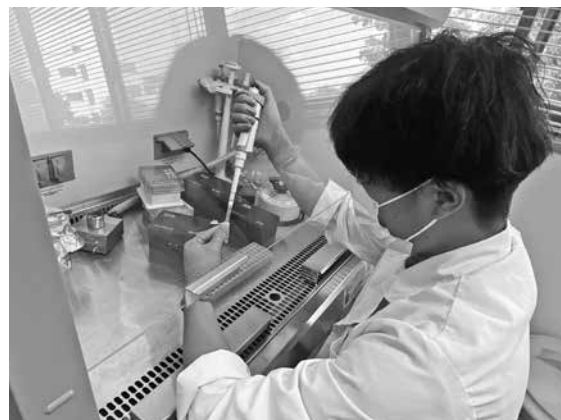
将来このような医師になれるのか多少の不安も生まれましたが、立派な医師になるために日々の勉学に励みたいと思いました。

この1か月間、眼科学分野の魅力をたくさん学ばせていただきました。恐らく、私が学んだことは眼科学分野全体で見たらほんの少しのことだと思います。だからこそ、もっともっと眼科について学びたいし、その知識を自分のものにしたいです。これは、眼科学分野に限らず、他の基礎科目、臨床科目でも言えることであって、これからの臨床の授業や実習がとても楽しみになりました。

最後になりましたが、お忙しい中、このような素晴らしい機会を設けてくださった、担当の中馬先生、馬渡先生をはじめ、宮崎大学医学部附属病院眼科学講座のスタッフの皆様に心からお礼を申し上げます。



研究室配属メンバーの集合写真



研究の様子

令和4年 総目次 (No.869~No.880)

【表紙】

水	宮 崎 市	大 迫 文 子	1月号
カムイ岬の冬	宮 崎 市	佐々木 究	2月号
さくら（永野鉄道記念館にて）	都 城 市	山 路 健	3月号
優雅	日 南 市	藤 浦 富 子	4月号
こいのぼり	宮 崎 市	谷 口 二 郎	5月号
雨の散歩道	日 南 市	新 木 る り	6月号
梅雨の頃（つゆのころ）	宮 崎 市	楠 元 正 輝	7月号
水面散歩	宮 崎 市	有 川 奈津季	8月号
ツバキシギゾウムシ（♂）	延 岡 市	末 岡 常 昌	9月号
感謝	宮 崎 市	野 崎 藤 子	10月号
大淀川の夕焼け	綾 町	玉 置 昇	11月号
芝刈り	宮 崎 市	谷 口 二 郎	12月号
	会 長	河 野 雅 行	

【会長のページ】

年頭所感	1月号
開業医について	2月号
令和4年度診療報酬改定	3月号
医師会とは	4月号
激甚災害・戦陣医学（医療）	5月号
国政選挙	6月号
第83期執行部より謝辞	7月号
進化と退化	8月号
日医新執行部に期待する	9月号
公害は過去のもの？	10月号
九州厚生局および宮崎県による指導の通知を受けて	11月号
マッチングについて	12月号

【COVID-19報告】

新型コロナウイルス感染症に係る県医師会の動き	常任理事	吉 田 建 世	3, 4, 6, 7月号
------------------------	------	---------	--------------

【日州医談】

新型コロナ禍の渦中で	理 事	嶋 本 富 博	2月号
仰げば尊し	理 事	園 田 定 彦	3月号

「特定行為に係る看護師の研修制度」の推進について	理 事	赤 須 郁太郎	4月号
日本医師会第1回未来医師ビジョン委員会に参加して	理 事	大 塚 康二郎	5月号
日本医師会、宮崎県医師会の死因究明などへの取り組み	理 事	玉 置 昇	6月号
生涯を通じた女性の健康支援事業について	理 事	上 山 貴 子	7月号
『かかりつけ医』制度化の報道に思う	副 会 長	山 村 善 教	8月号
ジェネリック医薬品の供給不足について	副 会 長	小 牧 齋	9月号
新型コロナウイルス感染症罹患後症状に対する外来診療体制の構築について			
	常任理事	吉 田 建 世	10月号
警察からの照会への対応について	常任理事	荒 木 早 苗	11月号
移行期医療の必要性について	常任理事	高 木 純 一	12月号

【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	中 川 俊 男	1月号
年頭所感	顧 問	秦 喜八郎	1月号
年頭所感	顧 問	稲 倉 正 孝	1月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	川 名 隆 司	1月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	田 口 利 文	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	佐 藤 信 博	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	千代反田 晋	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市西児湯医師会長	松 本 英 裕	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	西諸医師会長	内 村 大 介	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	植 松 昌 俊	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	帖 佐 悦 男	1月号
年頭所感	内科医会長	比 嘉 利 信	1月号
年頭所感	小児科医会長	高 村 一 志	1月号
年頭所感	外科医会長	白 尾 一 定	1月号
年頭所感	整形外科医会長	松 本 宏 一	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	田 尻 明 彦	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	肥 後 貴 史	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	蓑 田 國 廣	1月号
年頭所感	眼科医会長	中 村 彰 伸	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井 手 稔	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	放射線科医会長	杜 若 陽 祐	1月号

年頭所感	東洋医学会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医学会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号
年頭のご挨拶	宮崎大学長	鮫 島 浩	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（1区）	渡 辺 創	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（2区）	江 藤 拓	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（3区）	古 川 禎 久	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（比例）	武 井 俊 輔	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（比例）	長 友 慎 治	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長 峯 誠	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員・元日本医師会副会長	羽生田 俊	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	自 見 はなこ	1月号

【随想・随筆】

愛宕山巡り	延岡市	長 沼 弘三郎	3月号
日本には涙の出る詩（歌）が多い	延岡市	宝珠山 弘	4月号
冬の花壇をめぐって	宮崎市	友 成 久 雄	4月号
私自身が新型コロナウイルスに感染して	宮崎市	竹 尾 輝 久	4月号
自律神経失調症	宮崎市	日 高 正 昭	4月号
あなたできますか？	宮崎市	森 憲 正	9月号
たそがれワルツ Carpe diem	日南市	北 村 和 生	12月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

熱帯魚の世界	宮崎市	谷 口 二 郎	1月号
はやりかぜ	宮崎市	大 西 雄 二	1月号
誕生日にはChopinを	宮崎市	田 畑 直 人	1月号
愚痴の多い私のひとりごと	延岡市	宝珠山 弘	1月号
84才によせて	宮崎市	増 田 好 治	1月号
「俚言」	高鍋町	坂 田 師 隣	1月号
今年こそは？	宮崎市	細 見 潤	1月号
医療的ケア児，って知ってます？いわゆる医療的ケア児支援法への期待	宮崎市	池 田 俊 郎	1月号
来た！来た！私の五黄の寅年!!	小林市	小 原 健 一	1月号
ユージン・スミスの「MINAMATA」	日南市	山 口 和 正	1月号
コロナ禍で見つけた新しい趣味	宮崎市	春 山 幸 洋	1月号
猫との陣取り合戦	西都市	上 山 征史郎	1月号

とげ抜きのカズ	日向市	堀之内 和 代	1月号
折に触れて思うこと～想（そう）～	宮崎市	七 島 篤 志	1月号
あと何年	高原町	川井田 望	1月号
自分たちが光となりましょう	串間市	江 藤 敏 治	2月号
原稿執筆	高鍋町	大 森 史 彦	2月号
高校時代の仲間	宮崎市	澤 田 浩 武	2月号
ここからからだへ	宮崎市	岩 切 美千代	2月号
食生活の変化を楽しむ	宮崎市	横 山 晃 子	2月号
ご職業は？	宮崎市	紀 愛 美	2月号
小旅行	日向市	伊 藤 康 司	2月号
私の趣味	延岡市	石 井 千 寸	2月号
還暦に当り私のカルテを振り返って	宮崎市	丸 山 英 晴	2月号
犬が苦手でしたが、犬を飼っています	日南市	飛 松 正 樹	2月号
麻雀考	宮崎市	中 村 究	2月号
風邪の子	宮崎市	田 崎 高 伸	2月号

【はまゆう随筆・短歌・俳句】

当院の5つの約束	宮崎市	谷 口 二 郎	7月号
1.5L（リットル）の世界	宮崎市	福 島 慶 美	7月号
誰も寝てはならぬ、寝ると死ぬぞ！	日南市	北 村 和 生	7月号
ウクライナ人の愛国心と勇気を尊敬する	日向市	大久保 史 明	7月号
忘却とは	延岡市	宝珠山 弘	7月号
私たちだからできること	延岡市	末 岡 常 昌	7月号
コロナ禍での米国胸部学会出席	日之影町	重 永 哲 洋	7月号
私と死体検案	都城市	柳 田 美津郎	7月号
輪廻の微睡	日南市	山 口 和 正	7月号
せつなき世を共に	宮崎市	田 畑 直 人	7月号
自然の息吹に癒やされて	宮崎市	中 島 紫 織	7月号
サッカー大好き	都城市	野 田 俊 一	7月号
温故知新	宮崎市	山 下 良 三	7月号
地域とともに生きる	宮崎市	日 高 四 郎	7月号
収集品の処分は興味ある人をお願いしたい	都城市	志々目 栄 一	7月号
レコードとCD	宮崎市	林 透	7月号
深島まで	延岡市	長 沼 弘三郎	8月号
宮崎いのちの電話とコロナ禍	宮崎市	高 宮 眞 樹	8月号
AIに仕事を奪われる	新富町	大 山 龍 介	8月号

会津郷愁	宮 崎 市	渡 部 由 美	8月号
私のジム事情	都 城 市	吉 田 尚 紀	8月号
ジャカランダの森で太陽の日量（ハロ）を見る	宮 崎 市	弓 削 達 雄	8月号
若者は幻を見，老人は夢を見る	宮 崎 市	村 井 幸 一	8月号
自己紹介・Web国際学会参加記・ピアノYouTuber	延 岡 市	清 水 謙 祐	8月号
初心者のデイキャンプ	日 南 市	飛 松 正 樹	8月号

【エコー・リレー】

雑感	宮 崎 市	川 畑 紀 彦	1月号
新開設HALEたちばな	宮 崎 市	楠 元 恭 子	1月号
国語辞典	宮 崎 市	長 嶺 元 久	2月号
夏休みの自由研究	三 股 町	郡 山 晴 喜	2月号
マスク	宮 崎 市	高 村 一 志	3月号
グランピング	宮 崎 市	長 嶺 和 弘	3月号
私と小児心電学大家N先生との出会い	宮 崎 市	高 木 純 一	4月号
知らない世界	都 城 市	山 下 英一郎	4月号
コロナ禍にて	都 城 市	伊 達 晴 彦	5月号
ジャネーの法則	宮 崎 市	海老原 枝 美	5月号
エージシュート（Age-Shooting）	西 都 市	久 保 恵 是	6月号
焼却炉を知らない後輩たち	日 南 市	高 橋 尚 宏	6月号
時短？	宮 崎 市	渡 邊 裕 貴	7月号
お気をつけて	宮 崎 市	川 越 健太郎	7月号
浪漫	宮 崎 市	川 添 琢 磨	8月号
60すぎの手習い	宮 崎 市	釜 付 弘 志	8月号
時々自転車乗ってます	宮 崎 市	高 橋 稔 之	9月号
遊びの体力	都 城 市	義 川 剛太郎	9月号
相棒	宮 崎 市	沖 田 和 久	10月号
忍び寄る影	宮 崎 市	有 川 章 治	10月号
院長って大変	宮 崎 市	西 田 隆 昭	11月号
朝のジョギング・サイクリング㊟10周年	串 間 市	江 藤 敏 治	11月号
色鉛筆画を始めたきっかけ	宮 崎 市	黒 川 基 樹	12月号
スマホに向かってハミングしてます	日 向 市	上 園 繁 弘	12月号

【叙位・叙勲】

令和3年1月～12月までの叙勲及び表彰・祝賀受章会員			1月号
旭日双光章	日向市東白杵郡医師会	和 田 徹 也	6月号
瑞宝双光章	宮崎市郡医師会	杉 田 幸 雄	6月号

瑞宝双光章

延岡市医師会

赤 須 正 道

12月号

【褒章・祝賀】

藍綬褒章

日向市東臼杵郡医師会

鯨 島 哲 郎

12月号

【表彰・祝賀】

社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰

都城市北諸県郡医師会

大 窪 利 隆

1月号

労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰

宮崎大学医学部医師会

帖 佐 悦 男

1月号

公衆衛生功勞により県知事表彰

宮崎市郡医師会

市 原 美 宏

3月号

公衆衛生功勞により県知事表彰

宮崎市郡医師会

田 中 俊 正

3月号

公衆衛生功勞により県知事表彰

都城市北諸県郡医師会

中 山 郁 男

3月号

公衆衛生功勞により県知事表彰

延岡市医師会

野 田 省 治

3月号

公衆衛生功勞により県知事表彰

西都市西児湯医師会

岩 見 晶 臣

3月号

医療功勞により県知事表彰

宮崎市郡医師会

石 川 智 信

3月号

医療功勞により県知事表彰

延岡市医師会

林 田 中

3月号

医療功勞により県知事表彰

児湯医師会

高 山 修 二

3月号

医療功勞により県知事表彰

南那珂医師会

河 野 秀 一

3月号

医療功勞により県知事表彰

西諸医師会

高 崎 直 哉

3月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

宮崎市郡医師会

獅子目 賢一郎

4月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

都城市北諸県郡医師会

平 田 宗 勝

4月号

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

延岡市医師会

牧 野 剛 緒

4月号

公衆衛生事業功勞により一般社団法人日本公衆衛生協会会長表彰

宮崎市郡医師会

獅子目 輯

4月号

公衆衛生事業功勞により一般社団法人日本公衆衛生協会会長表彰

都城市北諸県郡医師会

泊 直十郎

4月号

公衆衛生事業功勞により一般社団法人日本公衆衛生協会会長表彰

西都市西児湯医師会

佐 藤 幸 憲

4月号

救急医療事業功勞により県知事表彰

都城市北諸県郡医師会

佐々木 幸 二

10月号

産科医療功勞により厚生労働大臣表彰

宮崎市郡医師会

古賀総合病院

10月号

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰

都城市北諸県郡医師会

安 藤 健 一

10月号

救急医療事業功勞により県知事表彰

都城市北諸県郡医師会

田 中 穰 式

10月号

救急医療事業功勞により県知事表彰

延岡市医師会

野 田 寛

10月号

医療功勞により県知事表彰

宮崎市郡医師会

川 名 隆 司

10月号

医療功勞により県知事表彰

都城市北諸県郡医師会

野 邊 俊 文

10月号

医療功勞により県知事表彰	延岡市医師会	宮 田 純 一	10月号
医療功勞により県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	渡 邊 裕 之	10月号
医療功勞により県知事表彰	児湯医師会	前 田 正 幸	10月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	阿久根 広 宣	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎大学医学部医師会	鈴 木 斎 王	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	海 田 紀 夫	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	西諸医師会	堀 英 晴	12月号
社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	比 嘉 利 信	12月号
精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	松 藤 正 彦	12月号
精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰	宮崎市郡医師会	岩 切 美千代	12月号
精神保健福祉事業功勞により宮崎県知事表彰	宮崎市郡医師会	牧 田 昌 平	12月号

【新任教授挨拶】

宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科	教 授	細 川 歩	1月号
病態解析医学講座 放射線医学分野	教 授	東 美菜子	2月号
病理学講座 構造機能病態学分野	教 授	山 下 篤	12月号
感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	教 授	高 橋 邦 行	12月号

【あなたできますか？】

各 号

【宮崎県感染症発生動向】

各 号

【メディアの目】

県民の生命を守る「医療」「健康」報道とは

	テレビ宮崎 報道部 部長	井 上 豊	2月号
コロナ報道冷静に	宮崎日日新聞社 報道部長	戸 高 大 輔	3月号
ニュースと「PV」 どう向き合う？	MRT宮崎放送 報道部長	藺 田 康 人	4月号
アフター・コロナ, アフター・ウォー	南日本新聞 宮崎支局長	内 倉 孝 之	5月号
病院で取材するということ	NHK宮崎放送局 コンテンツセンター長	松 本 健一郎	6月号
熱中症対策, それぞれの手元に届く情報を			
	朝日新聞 宮崎総局長	森 田 博 志	7月号
アフター・コロナへの期待	共同通信社 宮崎支局長	阿 曾 吉 宏	8月号
「統合・再編で病院存続」を強みに	時事通信社 宮崎支局長	舟 木 靖	9月号
命綱	読売新聞 宮崎支局長	村 岡 経 世	10月号
宮崎ハネムーンベイビー	西日本新聞 宮崎支局長	神 屋 由紀子	11月号

医学の出番

毎日新聞

宮崎支局長

加 藤

学

12月号

【都市医師会だより】

延岡市医師会（メイン）

会 長

佐 藤 信 博

2月号

日向市東臼杵郡医師会（メイン）

会 長

千代反田 晋

3月号

児湯医師会（メイン）

理 事

糸 井 仁

4月号

西都市西児湯医師会（メイン）

副 会 長

鶴 田 明 土

5月号

宮崎市郡医師会

会 長

高 村 一 志

8月号

都城市北諸県郡医師会

会 長

田 口 利 文

8月号

延岡市医師会

会 長

佐 藤 信 博

9月号

日向市東臼杵郡医師会

会 長

千代反田 晋

9月号

児湯医師会

会 長

永 友 和 之

10月号

西都市西児湯医師会

会 長

松 本 英 裕

10月号

南那珂医師会

会 長

中 村 彰 伸

11月号

西諸医師会

会 長

内 村 大 介

11月号

西臼杵郡医師会

会 長

植 松 昌 俊

12月号

宮崎大学医学部医師会

会 長

帖 佐 悦 男

12月号

【国公立病院だより】

国民健康保険諸塚診療所

所 長

桐 村 泰 廣

3月号

宮崎県済生会日向病院

院 長

林 克 裕

5月号

小林市立病院

小林市病院事業管理者

坪 内 斉 志

7月号

県立宮崎病院

院 長

嶋 本 富 博

9月号

県立日南病院

副 院 長

原 誠一郎

11月号

【宮崎大学医学部だより】

内科学講座 消化器内科学分野

医 局 長

三 池 忠

2月号

医療安全管理部

教 授

綾 部 貴 典

3月号

発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野

教 授

桂 木 真 司

4月号

附属図書館医学分館

分 館 長

澤 田 浩 武

5月号

病態解析医学講座 救急・災害医学分野

教 授

落 合 秀 信

6月号

機能制御学講座 薬理学分野

教 授

武 谷 立

7月号

感覚運動医学講座 皮膚科学分野

医 局 長

根 本 利恵子

8月号

宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科

教 授

細 川 歩

9月号

内科学講座 循環器・腎臓内科学分野

医 局 長

井手口 武 史

10月号

内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野

医 局 長

日 高 智 徳

11月号

社会医学講座 生命・医療倫理学分野

教 授

板 井 孝壺郎

12月号

【専門分科医会だより】

東洋医会	会 長	川 越 宏 文	4月号
外科医会	会 長	白 尾 一 定	5月号
内科医会	常任理事	玉 置 昇	6月号
皮膚科医会	会 長	田 尻 明 彦	7月号
整形外科医会	会 長	川 越 正 一	10月号
精神科医会	会 長	吉 田 建 世	12月号

【部会だより】

勤務医部会	会 長	嶋 本 富 博	3月号
学校医部会	理 事	高 木 純 一	8月号
病院部会・医療法人部会	病院部会長	池 井 義 彦	9月号
産業医部会	常任理事	吉 見 雅 博	11月号

【報告（宮崎県医師会各種委員会）】

医学賞選考委員会	1月号
介護保険委員会	1月号
医学会編集委員会	4月号
宮崎県医師会医学会役員会	5月号
医学会誌編集委員会	11月号

【報告（諸会議）】

九州医師会連合会第394回常任委員会	1月号
人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会	1月号
九州医師会連合会令和3年度第1回各種協議会	1月号
九州医師会連合会第395回常任委員会	1月号
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会	2月号
第121回九州医師会総会・医学会	2月号
第3回各郡市医師会長協議会	3月号
宮崎県医師会創立133周年記念医学会	4月号
九州医師会連合会第396回常任委員会	4月号
九州医師会連合会令和3年度第2回各種協議会	6月号
All Miyazaki研修医スタートアップセミナー	6月号
九州医師会連合会第397回常任委員会	7月号
九州医師会連合会第398回常任委員会	7月号
第175回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）	8月号
第176回宮崎県医師会定例代議員会（概要）	8月号
第177回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）	8月号

令和4年度第79回宮崎県医師会総会	8月号
九州医師会連合会第399回常任委員会	8月号
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議	8月号
九州医師会連合会第400回常任委員会	9月号
九州医連連絡会第32回常任執行委員会	9月号
九州医師会連合会第401回常任委員会	9月号
第66回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和4年度九州学校検診協議会（年次大会）	10月号
令和4年度九州各県医師会学校保健担当理事者会（日本医師会学校保健担当理事との懇談会）	10月号
令和4年度九州学校検診協議会幹事会	10月号
第123回九州医師会連合会定例委員総会	10月号
九州医師会連合会第402回常任委員会	11月号
第1回各郡市医師会長協議会	11月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会第72回定例総会・令和4年度第1回運営委員会	12月号
九州医師会連合会第403回常任委員会	12月号
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	12月号
県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	12月号
九州各県医師会学校保健担当理事者会	12月号

【報告（その他）】

第23回宮崎県医師会医家芸術展	10月号
300回を迎えた日南在宅ケア研究会	日南市 木佐貫 篤 12月号

【宮崎県医師協同組合だより】

医師協同組合提携のメディカル法人カードについて	1月号
医師協同組合取扱い保険について	3月号
医師協同組合提携のメディカルカードについて	5, 9月号
休診共催のご案内～医師の休業を補償します～	7月号
宮崎県医師協同組合第38回通常総代会 理事会	8月号
『クレーム対応費用保険』をご存じですか？	11月号
グループ保険（団体定期保険）のすすめ	11月号

【宮崎県医師国保組合だより】

保健事業のご案内	1～3, 6～8, 10～12月号
歩こう会の開催中止について	1, 2月号
医師国保からのお知らせ	1月号
春の異動シーズンに備えて	3月号
ロコモ・フレイル予防リーフレットおよびポスターについて	3月号
令和4年度の保険料賦課について	4月号

国民健康保険法第116条にかかる届出のお願い	4月号
令和3年度宮崎県医師国民健康保険組合第126回通常組合会	5月号
令和4年度宮崎県医師国民健康保険組合第127回通常組合会	9月号
宮崎県医師国民健康保険組合役員について	9月号

【追悼のことば】

田 中 毅 一 先生	都城市北諸県郡医師会	2月号
------------	------------	-----

【ニューメンバー】

楠 元 恭 子 (くすもと きょうこ)	宮 崎 市	1月号
植 田 雄 一 (うえだ ゆういち)	延 岡 市	6月号
河 野 敦 子 (かわの あつこ)	宮 崎 市	6月号
前 田 嘉 子 (まえだ よしこ)	都 城 市	7月号
岸 昌 廣 (きし まさひろ)	延 岡 市	8月号
小岩屋 宏 (こいわや ひろし)	宮 崎 市	12月号
坂 田 鋼 治 (さかた こうじ)	都 城 市	12月号

【診療メモ】

AIを活用した振分機能導入による審査について			
社会保険診療報酬支払基金宮崎支部 審査業務第2課長	川 村 誉 美	1月号	
知っておきたい、新しい心不全治療薬			
宮崎市郡医師会病院 循環器内科	小岩屋 宏	2月号	
女性の泌尿器科疾患 潤和会記念病院 泌尿器科	月 野 浩 昌	3月号	
ダニ媒介感染症の季節が来ます！			
宮崎大学医学部附属病院 膠原病感染症内科	川 口 剛	3月号	
臨床研究のすすめ方ー研究目的は何ですか？ー			
宮崎大学医学部附属病院臨床研究支援センター食品臨床試験部門			
株式会社ユリイカワークス 代表取締役	有 村 保 次	4月号	
泌尿器科におけるロボット支援下手術の現状			
県立宮崎病院泌尿器科	黒 岩 顕太郎	5月号	
医療的ケア児と小児在宅医療について			
まつおか小児科・いけだ小児神経内科	池 田 俊 郎	6月号	
不妊治療の保険適用について			
ゆげレディスクリニック	弓 削 彰 利	7月号	
主治医意見書とロコモティブシンドロームとリハビリテーション診療			
宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部	荒 川 英 樹	8月号	
画像診断とAI			
宮崎大学医学部病態解析医学講座 放射線医学分野	東 美菜子	9月号	

卵円孔開存（PFO）に対するカテーテル治療

宮崎市郡医師会病院心臓病センター 循環器内科	木 村 俊 之	10月号
当科におけるロボット支援手術の導入 県立宮崎病院 外科	別 府 樹一郎	11月号
コロナ罹患後症状に対する治療（私案） ちぐさ東洋クリニック	川 越 宏 文	12月号

【私が推薦する本】

「五足の靴」「高齢者てんかん」のすべて」「台所太平記」「海のアトリエ」

都 城 市 前 田 嘉 子 11月号

【身近なお困りごと相談室】

第3回：問題あるスタッフの解雇について	1月号
第4回：2022年4月に改正される個人情報保護法について	2月号
第5回：医療従事者に対する業務妨害行為について	3月号
第6回：就業規則を作成・改訂する意味とは？	4月号
第7回：スタッフの不祥事に対する損害賠償請求について	5月号
第8回：就業規則の変更について	6月号
第9回：賞与について	7月号
第10回：職員の解雇について	8月号
第11回：ネット上の悪質な書き込みや誹謗中傷について	8月号
第12回：ハラスメント対策について	9月号
第13回：職員の新型コロナウイルス感染による休暇の取扱いについて	10月号
第14回：個別指導・監査について	11月号
第15回：カルテの記載内容について	12月号

【宮大医学部学生のページ】

宮崎大学学園祭 第17回清花祭～破天荒解～ 開催報告

清武キャンパス実行委員長	医学科4年	井 上 聡 士	
医学展実行委員長	医学科4年	平 井 昂 也	1月号
研修医0年目の私たち	医学科5年	亀 山 佑 理	2月号
医師国家試験と国試対策委員会の活動	医学科6年	梶 田 凌	3月号
都農長期滞在型地域医療実習（LIC）を終えて	医学科5年	坂 本 優 貴	4月号
2021年度国家試験の結果報告と課題			
宮崎大学第117回国家試験対策委員会 委員長		阿 萬 樹 生	5月号
令和4年度新入生歓迎委員よりご報告	医学科4年	大 生 航 輝	6月号
部活動紹介～ウインドサーフィン部～	医学科3年	桶 谷 有 希	7月号
音楽祭実行委員長よりご報告	医学科4年	福 元 彩 乃	8月号
部活動紹介～剣道部～	医学科4年	鍛治川 雄 登	9月号
コロナの規制緩和と学生生活の変化	医学科3年	早 瀬 陸	10月号

宮崎大学学園祭第18回清花祭

清花祭清武キャンパス実行委員長	医学科4年	村 社 優 介	11月号
研究室配属について～感覚運動医学講座眼科学分野～	医学科3年	片 岡 凜	12月号

【その他】

宮崎県医師会役員等名簿	7月号
各郡市医師会役員等名簿	8月号
宮崎県医師会理事業務分担	8月号
令和4年総目次	12月号

【お知らせ】

宮崎県医療勤務環境改善支援センター	各 号
郡市医師会への送付文書	各 号
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	各 号
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	1～3, 6, 8月号
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	1, 2, 8, 12月号
女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	1～4, 12月号
日本医師会医師年金ご加入のすすめ	1, 4, 7, 9, 12月号
カット・イラストの募集	2, 9, 12月号
第31回日本医学会総会	3, 10月号
第23回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！	4, 5月号
地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	5～10月号
「はまゆう随筆」原稿募集	5, 6月号
第23回宮崎県医師会医家芸術展	7, 8月号
第6回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	7～9月号
令和4年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	7～9月号
「新春随想」原稿募集	10, 11月号
医療事故調査制度相談窓口	10, 11月号
県医師会館大規模修繕工事について	11, 12月号
日本医師会員向けキャッシュレスサービス	1月号
勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～（医師会・医師協同組合）	3月号
宮崎県医師会諸会費について	4月号
宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の取組みに係る医療機関対象調査について	4月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	5月号
『日医かかりつけ医機能研修制度 令和4年度応用研修会』のご案内	8月号
日州医事投稿についてのお知らせ	9月号
医師年金アンケート（認知度調査）にご協力をお願いします	10月号

県医師会館大規模修繕工事開始について

10月号

年末・年始の休館について

12月号

【案内】

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

8, 9月号

【公示】

宮崎県医師会役員等の選挙について

4月号

宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿

6月号

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣、スクラブ、パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが、どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 神園

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月27日	・文部科学省発出「新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行も見据えた今後の感染対策について」および「マスクの着用に関するリーフレットについて（更なる周知のお願い）」の送付について ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について ・オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について（その6） ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その78） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（12版） ・新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンについての最近の動向の説明動画の周知のお願い ・予防接種法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知） ・コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）に係る「使用上の注意」の改訂について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その79） ・令和4年度病院前医療体制における指導医等研修（初級者）に係る受講者の募集について（通知） ・日本医師会ORCA管理機構株式会社による日本医師会会員向けキャッシュレスサービスのご紹介と普及促進について ・コンタクトレンズの適正使用のための啓発動画の改訂等について（周知依頼） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その30）」の送付について
10月28日	・「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について（通知） ・職場における検査等の実施手順（第3版）について（周知依頼） ・「職場における積極的な検査等の実施について（報告依頼）」の廃止について（周知依頼） ・文部科学省発出「生後6か月以上4歳以下の者に対する新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に係る周知等について」の送付について ・公益財団法人産業雇用安定センターの活用について（情報提供） ・令和4年度「児童虐待防止推進月間」の実施について（協力依頼） ・令和4年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について ・令和4年度乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施について
11月1日	・令和4年度新型コロナウイルスワクチン接種緊急支援事業実施要領等の改正について（周知） ・オンライン資格確認導入における拡充時の補助内容の実施について ・病院の耐震改修状況及び医療施設の浸水対策等の実態把握に関する調査について ・厚生労働省共済組合員証の無効について

送付日	文 書 名
11月4日	・新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度の募集停止について ・新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた発熱外来診療体制に係る調査について（依頼） ・令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和4年度調査）への協力依頼（2回目）について ・「オンライン服薬指導における処方箋の取扱いについて」の改定について ・「令和4年度九州・沖縄地区 医療安全に関するワークショップ」の開催について ・日本糖尿病対策推進会議「糖尿病治療のエッセンス2022年版」の日本医師会ホームページへの掲載について ・文部科学省発出「令和4年度学校保健関係の地方交付税措置の主な内容の周知について（依頼）」の送付について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・令和4年度 死体検案研修会（基礎）の開催について ・「労災診療費算定マニュアル（令和4年4月版）」の一部改定について ・厚生労働省主催「令和4年度慢性疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」の開催について（周知依頼） ・「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第25条に基づく健康診断並びに生物由来原料基準第2の1(1)及び2(1)に規定する問診等について」の一部改正について
11月7日	・新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えたリーフレットについて ・「令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の実施に当たっての取扱いについて」並びに「令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）に関するQ & A（第6版）について」について ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査におけるPCR検査及び抗原検査の取り扱いについて ・モデルナ社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.4/5）の2価ワクチン）の配送等について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫作業従事者の発熱時の診療対応について（依頼） ・予防接種基礎講座の実施及び動画配信についてのお知らせ（予防接種従事者研修事業） ・「第3回医療事故調査・支援センター主催研修」のご案内（周知依頼） ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について ・検査料の点数の取扱いについて ・検査料の点数の取扱い及び「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて」の一部改正について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・電子処方箋管理サービスの運用について
11月8日	・新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時期流行に備えた医療用解熱鎮痛薬の安定供給について（周知依頼） ・「小児慢性特定疾病指定医の指定について」及び「小児慢性特定疾病医療支援の給付に係る公費負担者番号及び受給者番号の設定等について」の一部改正について ・「令和5年度新人看護職員の理解に向けて～看護基礎教育の現場と看護現場の連携～」研修の開催について（案内） ・「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行について（通知）」の一部改正について

送付日	文 書 名
11月9日	・公益財団法人 日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業2021年年報及び第70回報告書の送付について
11月11日	・医療機関等への抗原定性検査キットの配付について（通知） ・新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザに係る医療機関・保健所からの証明書等の取得に対する配慮について ・PCR等検査無料化事業の実施者に対する厚生労働省委託事業「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査」について ・「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その80）」及び「「新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の保険適用に伴う費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について」について ・オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について（その7） ・武田社ワクチン（ノババックス）の4回目以降の接種実施について ・日本化学療法学会・日本感染症学会 外来抗菌薬適正使用調査委員会抗菌薬適正使用に関するアンケート調査について ・厚生労働省「令和4年度動物由来感染症対策技術研修会」について ・「アルコール関連問題啓発ポスター」の送付について ・「外国人患者受入れ医療機関対応支援事業（夜間・休日ワンストップ窓口および希少言語に対応した遠隔通訳サービス）」第2回説明会について（依頼） ・医師法施行規則等の一部を改正する省令の公布等について（通知） ・独立行政法人福祉医療機構による物価高騰の影響を受けた施設等に対する長期運転資金について ・令和4年の医師の届出について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その31）」の送付について
11月15日	・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について（通知） ・新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を見据えた保育所等における感染対策の徹底について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（13版） ・データサイエンス講演会の開催案内について（通知） ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について（通知） ・令和4年度院内感染対策講習会の配信開始について ・VISIT JAPAN WEB等を活用した訪日外国人に対する観光庁の取組のご紹介並びに医療費不払い等に関する情報提供のお願いについて ・特別なコミュニケーション支援が必要な障害児者の入院時における支援者の付添いの受入れについて ・感染対策における業務継続計画（BCP）の策定のための「集団研修（オンライン研修）」に係る募集について ・令和4年度における感染対策のための実地研修に係る二次募集について ・院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）参加申込のオンライン化について ・医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の強化について（注意喚起）

送付日	文 書 名
11月18日	・医療機関等の従業員等に対するオミクロン株対応ワクチンの接種促進のための更なる取組推進について（依頼） ・新型コロナワクチンの接種に伴いアナフィラキシーを発症した者への対応について（通知） ・新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる療養病床の取扱いについて ・新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンについての最近の動向の説明動画の周知のお願い（一部改訂） ・新型コロナウイルス感染症の第8波と季節性インフルエンザとの同時期流行に備えた発熱外来診療体制のさらなる強化について ・入院時における付添いの受入れ等にかかる留意事項について ・令和4年度病床機能報告及び外来機能報告の報告期限の延期について ・日本学校保健会が主催する講習会の開催について（依頼） ・医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の強化について（注意喚起） ・医療用解熱鎮痛薬の安定供給について（続報） ・N-ニトロソアモキサピンが検出されたアモキサピン製剤の使用による健康影響評価の結果等について ・（公財）日本産業廃棄物処理振興センターリーフレット「感染性廃棄物容器を正しく使いましょう」について（周知依頼）
11月22日	・（令和5年1月始期）新型コロナウイルス感染症対応 日本医師会休業補償制度について ・令和4年度病床機能報告及び外来機能報告の報告期限の延期について ・第6回 日本医療研究開発大賞 公募のお知らせ ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その32）」の送付について ・消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の開始に向けた周知等について
11月25日	・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬「ゾコーバ錠」の医療機関及び薬局への配分について ・衛生環境研究所における全ゲノム解析のための検体の確保について ・冬季の省エネルギーの取組について（周知依頼） ・令和4年度「遠隔医療従事者研修」開催のご案内について ・訪日外国人からの相談対応について ・検査料の点数の取扱いについて ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・テゼペルマブ（遺伝子組換え）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・事業者による酸化エチレンの自主管理促進のための指針の策定について ・オンライン資格確認等関係補助金等により取得した補助対象等財産に係る財産処分の取扱いについて ・ガルカネズマブ（遺伝子組換え）製剤、フレマネズマブ（遺伝子組換え）製剤及びエレヌマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（片頭痛発作の発症抑制）の一部改正について ・「使用上の注意」の改訂について

あとかき



宮崎市では10月31日の週から乳幼児（生後6か月～4歳）の新型コロナワクチン接種が開始されました。12歳以上の接種量の10分の1に相当する3 μ gを3回接種します。第8波の兆しも指摘されており新型コロナウイルス対策はまだ継続の様態です。小児科の当院では、新型コロナ以外にもアデノ、RS、ヒトメタニューモなどのウイルス感染症が園や家庭内で局所的流行

行を認め、更に今後インフルエンザ流行の可能性も示唆されており、保護者や子どもを預かる施設では心配が尽きないと思います。

外来では、風邪ですねと伝えても保護者の不安が拭えなかったり、軽微な症状にかかわらず園から〇〇ウイルスの検査をしてもらうようにと指示を受け再診されたりといったこともしばしばで、「ただの風邪ではないかもしれないからコロナ以外にRSとかヒトメタとか他に原因がないか調べてほしい」と言われることがあります。さまざまな情報で混乱したり不安になったりされる方もいれば、各ウイルスが風邪症候群の原因という知識が浸透していない方もあり、患者とよく話すことが重要だとあらためて実感しています。

新型コロナも含め鼻腔や咽頭から検体を採取する機会が増え、私が綿棒や舌圧子を手にするのと検査を予感するのか泣き叫ぶお子さんに心苦しさもあります。必要な検査を行いわかりやすい説明を心がけたいと思います。

（横山）

* * * * *

監視カメラの普及のおかげで犯罪現場の映像をニュースなどでよく見かけようになりました。特にDIYerとしては建設現場の物品や工具の窃盗に腹が立ちます。キャンプ中に盗まれたブランド品のクーラーボックスがフリマアプリ「メルカリ」に出品されているのを見つけた札幌の女性は「どれだけ盗品だと訴えても、運営会社からは門前払いされた。もっと積極的に協力してほしい」と語っており、こうなると「メルカリ」などは、むしろ窃盗を後押ししているのではないかと感じます。運営会社に損害額を全額請求、もしくは窃盗の共犯として逮捕できるようになれば、会社も本気で対応するようになるのでしょうか。被害者にとっては理不尽極まりない世の中です。

（菊池）

* * *

米国の研究室にて、「人工子宮」でブタの胎児を育てることに成功したとのニュースをTwitterで目にしました。5年以内にヒト（胎児）での使用を検討しているとのこと。先日の米中間選挙では、人工妊娠中絶問題が投票結果に大きく影響しましたが、「人工子宮」に関する問題も、近い未来に物議を醸すことでしょう。悪用されないことを切に願います。検索すると動画も出てくるので、ご興味のある方はぜひ検索してください。

（植田）

* * *

先日、ゴルフの女子プロと一緒にコースをまわる機会がありました。後半、自分のプレーのあまりのひどさにアドバイスを求めたところ、それまで黙っていた彼女はわたしのスイングの欠点を即座に指摘し、矯正方法を教えてくださいました。その後、ずいぶんとよくなりパーも拾うことができました。これを機に心を入れ替えて、レッスンに通うことにしました。

（佐々木）

ついに実習が2年目に突入しました。診療科や学外病院を自分で選択できることもあり、非常にモチベーションが高まっています。1年目のような班行動ではなく個人で回るため、もちろん寂しさもありますが、挑戦したいことがあるときに担当の先生に相談しやすかったりと、利点をより強く感じています。まずは1年弱の実習を元気に終わることを目標に、現場の先生方やコメディカルの方、患者さんから学んでいく姿勢を忘れないようにしたいと思います。

（平井）

* * *

先日、宮崎大学の学園祭である清花祭が開催されました。学園祭当日は両日ともに雨でしたが、今年も楽しい学園祭になったと思います。学園祭の最後には後夜祭というものがあります。そこで最後に卒業の歌を歌う部活の同期を見て、もうすぐ卒業してしまうことに寂しさを感じるとともに残り少ない一緒に過ごせる時間を大切にしていきたいと思いました。また、臨床実習が始まるので学業も同期と過ごす時間も悔いの残らないように一日一日を大事に過ごしていきたいです。

（山本）

* * *

11月5日～6日大阪で行われた日本耳鼻咽喉科専門医大会に参加しました。コロナ禍以降初めての県外での学会参加でした。補聴器相談医の委嘱のための講習があり、実習が必須であったための現地参加でした。実習参加目的以外の会員は、ほとんどオンラインでの参加とのことでした。2日間に渡る座学はやや懐かしくもあるものの、オンデマンドでの学会参加になれた身には少し煩わしく感じました。今後は現地参加も可能となってくるものと思いますが、しばらくはオンラインでの参加を選択することになりそうです。

（長井）